

令和5年度
教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書

令和6年9月

蘭越町教育委員会

は じ め に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見も活用しながら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

蘭越町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成20年度から毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成、公表してまいりました。

令和5年度においても、令和元年度に策定した新たな「蘭越町教育推進計画」（令和2年度から令和6年度）に基づき、教育委員会が行った活動の状況や推進計画に掲げた施策の実施状況について点検・評価を行い、成果や課題と今後の方向性を明らかにした報告書を作成いたしました。

令和5年度の教育委員会における活動は、新型コロナウイルス感染症対策による活動の制限が5月以降解消され、停滞していた活動も再開し、それまでの考え方にとらわれない新しい創意と工夫で、活動に取り組んできました。

引き続き人口減少、超高齢化社会の加速化、情報通信技術の発達に加え、コロナ禍を経て価値観の変化など、予測が困難な時代の中であって、本町が持続的に発展するためには、将来を担う心身共に健やかな人材の継続した育成が不可欠です。

子どもたちが安心して安全に活動ができるよう環境を整えるとともに、明るい未来に向けて、志と意欲を持つ自立した人間として社会を構築していくための力を身につけることができるよう教育施策の実施、その効果の不断の検証と改善に努めながら、教育委員会として引き続き、本町の教育行政の着実な推進に努めてまいります。

今後とも、町民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、この点検・評価の実施にあたり、有識者で構成する「蘭越町教育委員会点検評価外部評価委員会」を開催し、貴重な御意見をいただきました。熱心に議論いただきました委員各位に厚くお礼を申し上げます。

令和6年8月

蘭越町教育委員会

目 次

第1章	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会委員名簿	1
2	教育委員会の会議の開催状況	1
3	条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正	4
	(1) 条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止	
	(2) 主な計画の策定	
4	教育委員会委員の活動状況	5
5	各種委員会等の活動状況	5
6	令和5年度予算の状況	8
7	行政改革（組織機構）の取組について	9
	(1) 組織体制の見直し	
	(2) 事務事業等の見直し	
8	教育関係者の表彰等	10
	(1) 蘭越町文化功労者表彰	
	(2) 蘭越町スポーツ表彰	
	(3) 関係団体表彰	
第2章	令和5年度教育推進計画に基づく評価（内部評価）	
1	確かな学力の育成	11
2	特別支援教育の充実	13
3	国際理解教育の充実	15
4	情報教育の充実	17
5	道徳教育の充実	18
6	ふるさと教育の充実	20
7	読書活動の推進	22
8	生徒指導・教育相談の充実	24
9	体力・運動能力の向上	26
10	食育の推進	28
11	学校段階間の連携・接続の推進	30
12	学校運営の改善	32
13	学校安全教育の充実	33
14	学校と地域の連携・協働の推進	35
15	地域に根ざした高校づくりに向けた支援	37
16	家庭の教育力の向上	38
17	子育て支援の充実	39
18	多種多様な学習機会の充実	40
19	生涯学習体制の充実	41
20	生涯各期に社会教育活動の推進	42
21	芸術文化活動の推進	43
22	文化財の保存と活用	44
23	みんなが集う花一会図書館	45
24	外に飛び出す図書館活動	47
25	生涯にわたるスポーツ活動の推進	49
26	児童生徒のスポーツ活動の充実	50
27	スポーツ環境の充実	51

第3章	外部評価	
1	外部評価委員による評価・意見	53
資料		
1	教育委員会行政組織機構図	1
2	学校の児童生徒・教職員数	2
3	施設利用者数	3
	(1) 町民センター利用者	
	(2) 町民プール利用者	
	(3) 体育施設利用者	
	(4) 目名サッカー場利用者	
	(5) トレーニング室利用者	
	(6) 花一会図書館利用者	
4	学校評価の概要	4
	・昆布小学校	
	・蘭越小学校	
	・蘭越中学校	

第 1 章 教育委員会の活動状況

第 1 章 の ポ イ ン ト

教育委員会委員名簿、会議の開催状況、条例・規則等の制定及び改正、委員・各種委員会の活動状況、教育関係者の表彰など、令和 5 年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1 教育委員会委員名簿

職名	氏名	任期
委員	西澤 雅明	平成16年10月23日～令和6年10月22日
委員	及川 かをり	平成23年12月21日～令和5年12月20日
委員	宮武 かおり	令和5年12月21日～令和9年12月20日
委員	西元 裕子	令和元年12月21日～令和5年12月20日
委員	安田 智恵子	令和5年12月21日～令和9年12月20日
委員	高橋 浩之	令和2年10月23日～令和6年10月22日
教育長	小林 俊也	令和2年12月20日～令和8年12月19日

2 教育委員会の会議の開催状況

蘭越町教育委員会の会議は、おおよそ毎月1回開催しており、緊急の案件がある場合には臨時の会議を開催しています。

この会議において、教育長と4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する条例及び規則等の制定や改正など、様々な議題について審議しています。

期日	付議案件等
第4回 令和5年4月26日	(報告) (1) 小中学校の体罰等に係る実態把握、対応状況について (2) 令和5年度蘭越町立小学校施設の開放について (審議) (3) 蘭越町特別支援連携協議会委員の任命について (4) 蘭越町教育支援委員会委員の任命について (5) 蘭越町生涯学習推進委員の補欠委員の委嘱について (6) 蘭越町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (7) 蘭越町個人情報保護条例の施行に関する蘭越町教育委員会規則の一部を改正する規則(案)について (8) 蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則(案)について (9) 蘭越町特別支援連携協議会設置規則の一部を改正する規則(案)について (10) 蘭越町教育委員会が通学路等に設置する防犯カメラの運用に関する要綱の一部を改正する告示(案)について (11) 修学旅行の引率業務等に従事する蘭越町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令(案)について (12) ふるさとらんこし未来応援奨学金奨学生の採用について (協議) (13) 蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表について
第5回 令和5年6月2日	(報告) (1) 第4地区教科書採択教育委員会協議会委員の選出について (承認) (2) 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について (審議) (3) 蘭越町学校運営協議会委員の任命について (4) 令和5年度一般会計教育費補正予算について (協議) (5) 令和5年度第1回教育委員学校訪問について

第6回 令和5年6月20日	(報告) (1) 令和4年度蘭越町学校給食会計決算について (2) 学校職員の交通事故等に係る指導等について (協議) (3) 令和5年度第1回教育委員学校訪問結果について
第7回 令和5年8月4日	(報告) (1) 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について (審議) (2) 令和5年度一般会計教育費補正予算について (協議) (3) 令和5年度第1回教育委員会学校訪問結果について
第8回 令和5年8月30日	(報告) (1) 学校職員の交通事故等に係る指導等について (審議) (2) 令和5年度一般会計教育費補正予算(案)について (3) 令和6年度使用小学校用教科書の採択について (4) 令和6年度使用中学校用教科書の採択について (5) 令和6年度使用小・中学校用特別支援学級教科用図書(一般図書)の採択について (協議) (6) 蘭越町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(案)について (7) 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表について
第9回 令和5年9月29日	(審議) (1) 令和5年度一般会計教育費補正予算について (報告) (2) 令和5年度全国学力・学習状況調査(英語「話すこと」)の結果について (3) 小中学校のいじめ問題の対応について (審議) (4) 蘭越町学校運営協議会委員の任命について (協議) (5) 令和5年度第2回教育委員学校訪問について (6) 教育委員視察研修について
第10回 令和5年10月30日	(審議) (1) 蘭越町いじめ防止基本方針の改定(案)について (協議) (2) 蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表について (3) 令和5年度第1回蘭越町総合教育会議について (4) 令和5年第2回教育委員学校訪問結果について
第11回 令和5年12月4日	(審議) (1) 令和5年度一般会計教育費補正予算(案)について (協議) (2) 令和5年度第2回教育委員学校訪問結果について (3) 令和6年度「教育行政執行方針」骨子について (4) 令和6年度一般会計教育費予算(案)について (5) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表について
第12回 令和5年12月21日	(審議) (1) 蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則(案)について (承認) (2) 令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
第1回 令和6年1月30日	(審議) (1) 令和6年度全国学力・学習状況調査実施方針(案)について (2) 令和5年度一般会計教育費補正予算(案)について

<p>第2回 令和6年2月22日</p>	<p>(報告) (1) 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について (2) 令和5年度学校給食会計第2学期末執行状況について (審議) (3) 学校職員の人事の内申について (4) 令和5年度一般会計教育費補正予算(案)について (5) 令和6年度教育行政執行方針(案)について (6) 令和6年度一般会計教育費予算(案)について (7) 令和6年度歳入歳出予算のうち教育関係予算に係る教育委員会の意見について</p>
<p>第3回 令和6年3月25日</p>	<p>(報告) (1) 学校職員の人事の内申について (2) 学校職員の交通事故等に係る指導等について (3) 教育委員会事務局職員の交通事故等に係る指導等について (承認) (4) 令和6年度要保護・準要保護児童生徒の認定について (審議) (5) 蘭越町教育委員会事務局職員の任免について (6) 蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則(案)について (7) 養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務遂行に関する要綱(案)について (8) 蘭越町教育委員会事務局職員及び学校以外の教育機関の職員並びに教育委員会の所掌に属する学校職員の賞罰及び賠償審査を委任する規則を改正する規則(案)について (9) 蘭越町地域学校協働活動推進員設置要綱(案)について (10) 蘭越町芸術文化事業補助金交付に関する要綱(案)について (11) 蘭越町体育振興奨励事業補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)について (12) 蘭越町生涯学習推進委員の選任に係る意見について (13) 蘭越町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について (14) 蘭越町花一会図書館運営協議会委員(補欠)の任命について</p>

3 条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正

令和5年度の教育関係の条例制定、改正はありません。

規則・要綱等の制定、改正の状況は次のとおりです。

なお、各種計画等については、蘭越町いじめ防止基本方針の改定を行いました。

(1) 条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止

公布（施行） 年月日	題 名
5.4.27	蘭越町教育委員会が通学路等に設置する防犯カメラの運用に関する要綱の一部を改正する告示
5.4.27	蘭越町個人情報保護条例の施行に関する蘭越町教育委員会規則の一部を改正する規則
5.4.27	蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
5.4.27	蘭越町特別支援連携協議会設置規則の一部を改正する規則
5.4.27	修学旅行の引率業務等に従事する蘭越町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令
5.12.29	蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
6.3.27	養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務遂行に関する要綱
6.3.27	蘭越町地域学校協働活動推進員設置要綱
6.3.27	蘭越町芸術文化事業補助金交付に関する要綱
6.3.27	蘭越町体育振興奨励事業補助金交付要綱の一部を改正する告示
6.3.27	蘭越町立学校管理規則の一部を改正する規則
6.3.27	蘭越町教育委員会事務局職員及び学校以外の教育機関の職員並びに教育委員会の所掌に属する学校職員の賞罰及び賠償審査を委任する規則を改正する規則

(2) 主な計画の策定

蘭越町いじめ防止基本方針の改定

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、月1回の定例会に加え、例年、各小中学校の行事、各種表彰式へ出席するほか、各種研修会に出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

※教育長は除く

日 時	活 動 内 容	委 員 名
4月 4日	転入教職員辞令交付式	全 員
5月22日	蘭越高校を地域とともに考える会総会	
6月20日	第1回教育委員学校訪問（蘭越小・昆布小・蘭越中）	全 員
7月21日	北海道市町村教育委員研修会（札幌市）	西澤・及川
8月15日	蘭越町はたちのつどい	全 員
10月13日	後志教育委員研修会（仁木町）	全 員
10月30日	第2回教育委員学校訪問（蘭越小・昆布小・蘭越中）	全 員
11月6日～8日	教育委員視察研修（青森県八戸市、秋田県湯沢市）	全 員
12月8日	蘭越町総合教育会議	全 員

5 各種委員会等の活動状況

蘭越町教育委員会に設置している主な審議機関、委員会等は次のとおりです。第6次蘭越町総合計画実行計画（令和2年度～令和6年度）や教育計画「蘭越町教育推進計画（令和2年度～令和6年度）」と整合性を図りながら、生涯学習活動、子どもの読書活動等の推進に努めました。

名 称	委員数	会 議 開催数	主 な 協 議 事 項	会議開催 年 月 日
蘭越町生涯 学習推進委 員会	17	全体回 2回	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 第1回会議（令和5年度 生涯学習の推進及び具体的な活動について） 第1回 各部会会議 令和5年度 第2回会議（令和5年度 生涯学習の事業及び推進委員会の活動報告について） 	令和5. 4. 27 令和6. 3, 5
		社会教育専門 部会 2回	社会教育専門部会 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 第2回社会教育専門部会会議（上半期の事業報告及び北海道・後志管内社会教育委員連絡協議会、令和6年度における事業の方向性について） 	令和5. 10. 19
			<ul style="list-style-type: none"> 視察研修（管内美術館） 	令和5. 11. 9

		文化財 専門部 会 2回	文化財専門部会 ・令和5年度 第2回文化財専門部会会議 (史跡地標柱の設置及び令和5年度史跡地 説明板について)及び史跡地説明板設置(4 カ所) ・視察研修(札幌市※部会会議後)	令和6. 9. 13 ～ 10. 3 令和6. 10. 13
蘭越町文化 功労者表彰 選考委員会	6	1	・令和5年度蘭越町文化功労者表彰の選考に ついて	令和5. 10 (書面開催)
蘭越町子ど も教室運営 委員会	8	2	・令和5年度放課後子ども教室の運営の体制 並びに蘭越町学校支援地域本部事業につ いて ・令和5年度放課後子ども教室実施状況につ いて	令和5. 5. 24 令和6. 3. 28
蘭越町花一 会図書館運 営協議会	10	1	・運営協議会会長、副会長の選出 ・令和4年度図書館運営状況について ・令和5年度図書館運営について	令和5. 4. 28
蘭越町スポ ーツ推進委 員会議	11	3	・第1回スポーツ推進委員会議 ・第2回スポーツ推進委員会議 ・令和5年度の総括について	令和5. 4. 11 令和5. 10. 12 令和6. 3. 21
蘭越町スポ ーツ表彰選 考委員会	6	1	・令和5年度蘭越町スポーツ功労賞及びス ポーツ栄誉賞の選考について	令和5. 9. 19 (書面開催)
蘭越町学校 給食センタ ー運営委員 会	8	2	・令和4年度給食会計収支決算について ・令和5年度学校給食センター費予算につ いて ・令和5年度2学期未執行状況報告 ・令和6年度給食回数について	令和5. 7. 27 令和6. 1. 23
蘭越町特別 支援連携協 議会(相談支 援チーム会 議)	25	本会議 1 チーム 会議 2	・相談支援チームについて ・相談支援要請について ・就学支援シートの作成について ・新就学児の情報共有 ・新就学児のスクリーニング検査の立会	令和5. 6. 13 令和5. 7. 2 令和5. 8. 29

蘭越町特別支援連携協議会(医療的ケア運営協議会専門部会)	8	-	・医療的ケア実施に係る協議等	-
蘭越町外国語教育連携推進会議	2 1	全体会 1 ワーキングチーム会議 2	・小中高の連続した英語教育の在り方 ・CAN-DOリストについて ・小中乗り入れ、高中乗り入れ授業について ・パフォーマンステストについて ・地域で連携する英語教育について ・成果と課題について ・取組について	令和 5. 5. 31 令和 6. 3. 13
蘭越町学校運営協議会委員会	1 8	1 学校部会 5	・学校運営に関する基本的な方針について ・各部会の開催(学校経営状況について、課題等について) ・学校評価について ・次年度の学校経営方針及びグランドデザインについて ・中学校部会 ・昆布小学校部会 ・蘭越小学校部会	令和 6. 3. 21 令和 6. 3. 19 令和 5. 9. 11 令和 6. 3. 6 令和 5. 7. 20 令和 6. 3. 11

6 令和5年度予算の状況

令和5年度一般会計教育費の最終予算は761,181千円で、一般会計の9.5%を占め、教育費全体としては、対前年比188,033千円の増となりました。蘭越中学校の改修に向けて、実施設計を行い、トイレの改修など一部を先行して工事に着手したほか、各校に空調設備を設置する工事の予算化をしました(一部繰越)。そのほか、学校給食費の公会計化を実施。学校運営、社会教育やスポーツ活動等限られた財源の中、効率的な各種事業の実施に努めました。

教育費最終予算の内容(項、目別予算) (千円)

項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	161,964
(1) 教育委員会費	1,780
(2) 事務局費	90,578
(3) 奨学金	1,080
(4) スクールバス費	68,526
2 小学校費	203,745
(1) 学校管理費	198,859
(2) 教育振興費	4,886
3 中学校費	161,534
(1) 学校管理費	157,417
(2) 教育振興費	4,117
4 社会教育費	79,076
(1) 社会教育総務費	38,618
(2) 町民センターらぶちゃんホール費	12,382
(3) 花一会図書館費	24,874
(4) 放課後子ども教室費	3,202
5 保健体育費	154,862
(1) 保健体育総務費	29,815
(2) 体育施設費	42,602
(3) 学校給食センター費	82,445
合 計	761,181

7 行政改革(組織機構)の取組について

近年、国・地方を通じる財政の危機的状況は益々その深刻さの度合いを深め、地方公共団体の財政状況は、年々その厳しさを増してきており、この難局を乗り越えるためには財政構造そのものを変革する必要があります。

そのためには、財政と不可分の関係にある行政の仕組みと連動させて推進する必要があります。現行の制度や施策を見直し、行財政の構造をその根源から変革するため、組織体制や事務事業の見直しを進めました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価が義務付けられておりますので、令和4年度の蘭越町教育推進計画の実施状況等報告書を作成の上、議会へ提出及び公表をしております。

(1) 組織体制の見直し

令和5年度は、教職員の働き方改革に対応する部活動指導員の配置や特別な支援や配慮が必要な小学校入学前の幼児、小・中学校に在籍する児童生徒及び保護者に対して、言語面や行動面等に関する教育相談や情報提供、関係機関との連携を行う教育相談支援員を設置するとともに、昨年同様、職員を兼務発令し、業務の円滑な執行に努めました。

- ・ 学 務 課 主 幹 ～ 総務係長 兼務
- ・ 生涯学習課主幹 ～ 町民センター長、花一会図書館館長及び業務係長 兼務
- ・ スポーツ課主幹 ～ 総合体育館長 兼務
- ・ 学校給食センター長 ～ 業務係長 兼務
- ・ スポーツ課スポーツ振興係長 ～ スポーツ施設係長及び総合体育館業務係長 兼務
- ・ 町民センター業務係長 ～ 花一会業務係 兼務

(2) 事務事業等の見直し

多くの施設、備品等が老朽化しており、修繕、更新に向けた費用も見込まれることから計画的な予算の措置、執行が求められます。テクノロジーの進化や町民ニーズの変化もあり、常に状況を判断して事務事業に取り組んでいかなければなりません。

8 教育関係者の表彰等

令和5年度の主な教育関係の表彰等は次のとおりです。

(1) 蘭越町文化功労者表彰

西 條 美 登 (短歌の普及)

(2) 蘭越町スポーツ表彰

スポーツ功労者表彰 該当なし

スポーツ荣誉賞表彰

佐々木 里和子 (アルペン競技 蘭越中)

(3) 教育関係表彰等

・瑞宝双光章

須 藤 克 美 (元田下小学校長)

大 田 尚 平 (元名駒小学校長)

(4) 関係団体表彰

・蘭越町文化団体協議会表彰

ア 文化賞

多 仲 兎 角 (蘭越短歌会)

イ 文化奨励賞

小 寺 久 子 (歌声サークル「はな」)

山 岡 信 夫 (根曲がり竹細工研究会)

・ 蘭越町スポーツ協会スポーツ表彰

ア スポーツ功労賞

坂 本 政 司 (ソフトボール協会)

イ スポーツ振興賞

佐 賀 正 人 (ソフトボール協会)

大 室 真 一 (卓球協会)

佐 藤 耕 治 (軟式野球連盟)

ウ スポーツ奨励賞

河 村 紘 仁 (蘭越高校3年) 北海道高等学校選抜卓球大会 男子シングルス 優勝

エ スポーツ努力賞

谷 口 瑞 季 (蘭越小6年) 全後志剣道段別選手権大会 小学校6年生の部 優勝

第2章 令和5年度教育推進計画 に基づく評価（内部評価）

第2章のポイント

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする蘭越町教育推進計画に基づき、令和5年度の教育委員会の活動の点検・評価を行ったものです。

具体的には、「教育推進計画」に示した27項目の施策について、目標指標の実施状況や、令和5年度事業の取組概要・成果や課題・今後の方向性を整理しています。

施策項目 1 確かな学力の育成

目 標

学校と家庭が連携を図りながら、子どもの学ぶ意欲を育むとともに、望ましい学習習慣を身に付けさせ、確かな学力を育む。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 4	R 5	目標 (R 6)
児童・生徒の授業の理解	全国学力・学習状況調査において、「国語、算数・数学の授業の内容は分かる」と回答した町内児童・生徒の割合(小学6年生、中学3年生)	小国 90.7% 小算 84.4% 中国 77.8% 中数 72.2% 中英 58.4%	小国 84.8% 小算 78.8% 中国 87.5% 中数 78.1% 中英 -%	小国 100.0% 小算 81.0% 中国 91.7% 中数 70.8% 中英 58.3%	小国、算90% 中国、数80% 中英65%以上をめざす
基礎・基本の定着の状況	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率を100とした場合の町内学校のすべての教科の平均正答率	小国 114 小算 101 中国 98 中数 99	小国 99 小算 97 中国 96 中数 89	小国 104 小算 117 中国 95 中数 84	すべての教科で100以上をめざす
家庭学習の取組状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という設問に対して、「1時間以上勉強している」と回答した町内児童・生徒の割合	小 50.0% 中 44.4%	小 51.5% 中 40.6%	小 47.6% 中 54.2%	「1時間以上勉強する」と回答する町内児童・生徒の60%以上をめざす
	全国学力・学習状況調査において「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対して、「している」と回答する町内児童・生徒の割合	小 59.4% 中 47.2%	小 63.6% 中 53.1%	小 81.0% 中 70.8%	すべての児童・生徒が計画を立てて勉強していると回答することをめざす
幼保小中の連携	確実な接続を目指す相互視察(授業参観等)や乗り入れ授業の実施	幼保小視察 入学説明会 体験入学	幼保小視察 入学説明会 体験入学 中→小視察 中→小乗り入れ授業	幼保小視察 入学説明会 体験入学 中→小視察 中→小乗り入れ授業	視察や乗り入れ事業100%をめざす
指導技術の向上	教職員の教科指導に係る専門的な研修への参加率	85.0%	92.5%	95.6%	一人一研修をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る学習活動の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
放課後や長期休業期間を利用した補充的な学習、児童・生徒の主体的な学習を支援する体制の充実	校内研修を中心に、蘭小スタンダードの確立を図り学習規律を全校で統一するとともに、研究授業を複数回実施して授業改善に取り組んだ。(蘭越小) ・長期休業中に夏2回、冬2回の学習会を実施した。放課後に放課後子ども教室と連携し、児童の実態に合わせた補充的な学習を行った(昆布小) ・定期テスト前放課後学習や長期休業中学習会に加え、個別に学習が必要な生徒に放課後学習を行った。(中学校)	校内研修で「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を一層推進する。(蘭越小) ・ミニプリントやAIドリル等を活用して、基礎事項の定着を図る。(昆布小) ・個に応じた学習に注力する。(中学校)

(2) 学年の発達段階に応じた家庭での学習習慣の定着を図り、主体的に学習に取り組む等、学びに向かう力の涵養

① 令和5年度取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭における学習習慣の確立	<p>低・中・高学年別の「家庭学習の手引き」を改訂し、家庭・保護者と連携した取組を実施。また、CS 学校部会での委員との意見交換を実施した。(蘭越小)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きを配付し、家庭の協力を求めた。学級編成や発達段階に即した手引きの改訂を進めた。グランドデザインに記載し周知した。(昆布小) ・各教科の家庭学習ノートを毎日提出するよう指導し、個別にコメントを書くなど、定着のために工夫したが、個人差が大きい。(中学校) 	<p>授業改善と一体的に取り組んでいく。(蘭越小)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の内容交流や良い例の紹介などを進め、活性化に努める。(昆布小) ・自ら学習に取り組むことができるよう、ICT の活用を前向きに検討する。(中学校)

(3) 幼保小中の連携を図るとともに、確実な接続を実現する指導体制の確立

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スムーズな接続を実現する連携・指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会、体験入学、中→小視察、中→小乗り入れ授業の実施に加え、特別支援教育関係諸会議で、特別支援教育コーディネーターが中心となり特に支援を要する子どもの様子を交流した。(蘭越小) ・入学前の「はばたきシート」の引き継ぎ、中学校からの乗り入れ授業(外国語)を継続して実施している。(昆布小) ・教育課程交流会による、校種を超えた学習規律やあたたかい学級づくりのための取組について連携したり、小学校への乗り入れ授業を積極的に行ったりした。(中学校) 	<p>継続実施するとともに、さらに特別支援教育コーディネーターを中心とした連携の充実を図る。(蘭越小)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続するとともに、学校種間を超えて授業を見合う機会を増やして、よりスムーズな接続を図る。(昆布小) ・町教研なども活用し、校種を超えた教職員の連携を行う。(中学校)

(4) 管理職や先輩教員からの学びや同僚間の学び合いと校内研修の推進

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
外部での研修や外部講師を招く研修による教科研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・岩内西小学校教諭による、「特別支援教育の充実」についてのミニ研修を実施し、通常学級も含めた特別支援教育について研修を深めた。(蘭越小) ・後志教育研修センターの研修講座へ積極的に参加し、校内で成果の共有を図った。また、町教研主催で、認定 NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラムから新保元康氏をお迎えした講演「全国の実践事例から学ぶ令和の日本型学校教育」に参加し、学校 DX や授業 DX についての研修を行った。(昆布小) ・研修の受講奨励を行い、キャリアステージに応じた研修を促した。また、英語科における地域連携研修を行い、文部科学省調査官を招聘したり、町教委が主催し ICT 活用実践の研修を行ったりした。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・所員に登用された教職員による後志教育研修センターとの更なる連携。実践的なミニ研修の企画・実施。(蘭越小) ・働き方改革を進めつつ、外部研修へ積極的に参加するとともに、外部講師の積極的な活用を図る。(昆布小) ・研修受講奨励をもとにさらに研修への参加率を上げる。また、ICT 活用研修を継続し、授業における実践力をつける。(中学校)

施策項目 2 特別支援教育の充実

目 標

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、学校関係者や保護者などに対し、特別支援教育に関する理解を深め、幼児期から学校卒業までの切れ目ない一貫した指導や支援を行う。

目標指標

指標	指標の概要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
「個別の教育支援計画」の策定状況	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の「個別の教育支援計画（幼保：羽ばたきシート）」の入学・進学先等における引き継ぎ、活用している割合	幼・保→小 100% 小→中 100% 中→高 0%	幼・保→小 100% 小→中 100% 中→高 100%	幼・保→小 100% 小→中 100% 中→高 100%	対象児童・生徒について100%活用を維持し、高校での活用100%をめざす。
特別支援教委に関する研修の状況	各校の特別支援教育に関する校内研修の実施状況	各校、校内研修に取り上げている。	各小学校、校内研修に取り上げている。 中学校、年間計画の中に位置づけ、実施している。	各小学校、校内研修に取り上げている。 中学校、年間計画の中に位置づけ、実施している。(R5年度は指導主事要請訪問により、特別支援に関わる研修を実施)	各校1回以上の研修開催

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 一貫した支援をめざした特別支援教育の推進

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒における「個別の教育支援計画」の策定・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級担任、特別支援学級担任、通級担当が連携し、「個別の教育支援計画」の策定ができた。支援会議や情報交流会を持つことで、一人一人の実態に応じて変更しつつ、有益に活用することができた。(蘭越小) ・通常学級担任、特別支援学級担任、通級担当が連携し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を策定し、指導に活用している。(昆布小) ・R5年度は、新たに「実態把握票」を作成し、特別な支援を要する生徒を洗い出したことで、「個別の教育支援計画」の策定・活用に大いに役立った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子ども支援会議、情報交流会を定期的で開催することで実態に応じた支援となるよう推進していく。(蘭越小) ・今後も校内サポート会議で、情報を校内で共有しながら、実態に応じた支援ができるよう推進する。(昆布小) ・「実態把握票」の作成を継続し、合理的配慮や支援計画につなげ、全体で共通した支援を行う。(中学校)

(2) 幼稚園、小・中学校、高等学校などにおける特別支援教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>蘭越町特別支援連携協議会の専門的な相談支援の充実（就学支援シートを取組む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組を継続し、幼少、小中の繋がりを深めつつ充実することができた。（蘭越小） ・協議会の活動内容を踏まえ、ケース会議や相談支援等を実施した。（昆布小） ・協議会の活動内容を踏まえ、校内の特別支援委員会を充実させ、相談支援につなげられるようにした。（中学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幼少期からの教育相談を実施することで、特別な支援を必要とする児童の把握を図るとともに、その支援に積極的に関わっていく。（蘭越小） ・専門機関との連携を強化し、特別支援教育の充実を図る。（昆布小） ・子どもや保護者のニーズを踏まえ、協議会や校内支援委員会の討議を経ながら、適宜関係機関と連携していく。（中学校）

(3) 特別支援教育に関する研修の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>障害に関する研修の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修で特別支援教育について外部講師による講話を実施した。こぶし学級担任団・通級指導担当者が校外研修に積極的に参加した。北海道立特別支援教育センターの講師を務めた職員もいる。（蘭越小） ・校内研修の理論研修を行う中で、特別支援教育に関する情報交換などを実施した。（昆布小） ・特別支援委員会を月に1度開催し、特別支援学級生徒、通常学級生徒在籍の特別な支援が必要な生徒の状況交流、対応について協議・研修を行っている。また、昨年度はUD（ユニバーサルデザイン）の考え方について研修を行った。（中学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幼少期の教育相談の実施により早期の対応を図り、グレーの状態の児童に幼保の段階からアプローチしたい。（蘭越小） ・特別支援コーディネーターや外部講師による研修を行い、障害に関する知識を高めるとともに、支援の充実を図る。（昆布小） ・今後も個に応じた支援、UDを踏まえた教育活動を組織的に実践できるよう、継続して研修を行う。（中学校）

施策項目 3 国際理解教育の充実

目 標

国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統等について理解を深め、尊重し、様々な価値観を持つ人々と共に協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育成する

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基 準 年	R 4	R 5	目 標 (R 6)
外国語活動の実施状況	ALTが支援した外国語・外国語活動の授業時数(小中学校)	授業時数100% (R1)	授業時数98% (小学校においてALTの配置が遅れたことによる減)	授業時100%	授業時数100% 継続をめざす
外国語研修の実施状況	小学校の教員を対象とした外国語研修の実施	未実施 (H30)	(蘭越小) 1回実施 (昆布小) 未実施	(蘭越小) 1回実施 (昆布小) 未実施	年間1回の実施 をめざす
英検3級合格者の状況	中学校卒業段階で英検3級以上を取得又は英検3級の英語力を有すると思われる生徒の割合	17.5% (H30)	28.1%	18.2%	30%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 外国語教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
ALTを活用した外国語活動(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級担任とALTが打ち合わせを密にした上で授業を行い、効果的に活用できた。(蘭越小) ・低学年では年間10時間の外国語活動を実施した。体を動かしながら英語に触れる活動を行った。(昆布小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い職員の授業を参観して活用力を高めていくとともに、ALTの能力のさらなる向上を目指す。(蘭越小) ・今後も全ての学年で外国語を学び、外国語のいっそうの定着を図る。(昆布小)
ALTを活用した外国語教育(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、スモールトークやショートスピーチ、パフォーマンステストなどで活用することができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「English トライアル」など、より計画的な活用を図っていく。(中学校)

(2) 国際理解・異文化理解協力の推進

① 令和5年度の実施概要	② 令和5年度の実施成果や課題	③ 今後の方向性
国際交流・異文化交流の実施 (ALTの活用含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのコミュニケーション・外国語活動RPGを通して、国際交流的な活動を実施した。(蘭越小) ・特別な取組を行うことはできなかったが、外国語活動・外国語以外の場面でもALTとの交流機会は増えてきている。(昆布小) ・ALTのスピーチや、スモールトークを通して、アメリカ合衆国の文化について触れる機会を設けた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も町外国語活動推進協議会の取組により、継続、発展を目指す。(蘭越小) ・ALTや地域人材を活用し国際交流や異文化交流機会を増やしていく(昆布小) ・継続して国際理解交流を行っていく。(中学校)
国際理解・異文化理解の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・おもに外国語の学習、他教科等では総合、社会科などで、日本と比較することで理解を深めることができた。(蘭越小) ・外国語の学習の中で、日本と比較しながら理解を深めてきた。(昆布小) ・各国の世界遺産や観光地についての調べ活動やプレゼンなどを行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も外国語の学習をはじめ、他教科等もふくめて活動を推進する。(蘭越小) ・外国語以外の授業でALTを活用するなど、ALTの活動の場面を工夫したい。(昆布小) ・掲示板等を利用して、国際文化に触れる機会を増やしていく。(中学校)

施策項目 4 情報教育の充実

目 標

情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することや情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育てる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 4	R 5	目標 (R 6)
コンピューターを活用した指導の状況	学校における教育情報化の実態等調査におけるコンピューターを活用して指導できる教員の割合	88.9%	77.4	78.8	100%をめざす
情報教育に関する指導の状況	情報教育やプログラミング教育に関する研修の充実	小R2、中R3 完全実施	小、中 完全実施	小、中 完全実施	カリキュラムへの導入100%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 視覚情報モラルの向上を図る指導内容の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
情報モラル向上のための児童・生徒向け指導資料の作成・配布、情報教育に関する教員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、外部講師による「情報モラル教室」で学習した。一人一台端末の活用を通して、児童の情報モラル育成が図られるとともに、教員の指導力向上が図られた。(蘭越小) ・情報モラルに関する資料を配付し、児童への指導と保護者への啓発を行った。(昆布小) ・教育委員会等から提供される資料を配付し、学級指導を行った。また、情報教育に関する教員研修を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末のさらなる活用を通じた、情報モラルの育成。(蘭越小) ・情報モラル教室や教職員の研修を実施する。(昆布小) ・生徒の実態を把握し、実態に合わせて必要な資料を配付・指導する。(中学校)

(2) 情報教育に関する指導方法の工夫・改善

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
教育関係機関を結ぶネットワークの活用、情報教育に関する職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末活用研修に多くの教員が参加し、活用力向上を図ることができた。(蘭越小) ・登校できなかった児童をリモートで授業に参加させるなど、ネットワークを活用して授業を実施できた。また、タブレットドリルの活用法やホワイトボードアプリの活用法について研修を実施した。(昆布小) ・校務支援システムを活用した情報共有、道教委、道教委から提供される研修 Link ナビをもとにした研修を促した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末活用研修の成果活用、および校内研修の充実。(蘭越小) ・AI ドリルの導入に向けたトライアルや、メンテナンス方法の共有などで、一人1台端末がより活用されるよう工夫する。(昆布小) ・MEXCBT で提供されるサポート問題の活用、研修 Link ナビの活用をさらに促進する。(中学校)

(3) 情報教育設備の整備・充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
高速情報通信ネットワークに対応したICT機器の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度にギガスクール構想に伴う一人一台のタブレット端末の導入及び校内ネットワークを構築済み。 ・学習用タブレットの破損、不具合が多発しており、その対応に課題がある。 	今後、5G通信網インフラが整備される場合は、対応する機器等への更新を検討する。

施策項目 5 道徳教育の充実

目 標

基本的な生活習慣の確立や最低限の規範意識だけでなく、自分への信頼感や自信などの自尊感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うことと併せ、法やルール of 意義やそれらを尊重することなどの意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人間を育てる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 4	R 5	目標 (R 6)
規範意識や基本的な倫理観等の状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の決まりをまもっていますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 93.7% 中 97.3%	質問項目なし	質問項目なし	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
自尊感情の状況	全国学力・学習状況調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 93.7% 中 72.2%	小 66.7% 中 78.1%	小 95.23% 中 66.67%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
向上心の状況	全国学力・学習状況調査において、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 81.3% 中 69.4%	小 60.6% 中 53.1%	質問項目なし	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
生命の尊重や他者への思いやりの状況	全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 96.9% 中 88.9%	小 87.9% 中 93.8%	小 95.2% 中 91.7%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
社会参画への意識の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 62.6% 中 33.3%	小 51.5% 中 43.8%	小 81.0% 中 54.2%	80%の児童生徒がどちらかを回答することをめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭や地域と連携を図り、多様な教育資源を活用した子どもの発達段階に応じた道徳教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の人材活用や体験活動を取り入れた道徳教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ5類移行に伴い、総合的な学習や教科等でこれまで休止していた取組を一部再開し、道徳性の涵養を図った。(蘭越小) ・人権教室や総合的な学習での地域自然体験を通じて、効果的な学習を行うことができた。(昆布小) ・交通安全教室、防災学習などで地域人材を活用した道徳教育を実践した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材等の活用について、計画を見直し再整備して充実を図る。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・さらなる人材発掘のため、地域との連携を行っていく。(中学校)
「道徳の時間」(「特別な教科である道徳(道徳科)」)の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き道徳教育推進教師が中心となり授業改善に取り組み、アンケート結果からも道徳性の成果を確認できた。(蘭越小) ・参観日での授業公開を行うとともに、指導技術の向上を図った。(昆布小) ・過年度までに取り組んできた指導方法を生かし、同じ歩調で道徳の授業に取り組む体制を作ることができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、道徳科の授業づくりについて校内研修を推進し、指導力を高めていく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・中心発問を中心とした補助発問の工夫、交流場面や方法の工夫など、さらなる指導力の向上を目指す。(中学校)

(2) 道徳的価値の自覚を深めさせる指導の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
「総合的な学習の時間」などにおけるボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障がい者、外国人との交流の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・特に自然体験活動では、遠足、川の学習、米作り、ネイバル森での宿泊研修など、各学年で多様な活動を展開できた。(蘭越小) ・地域の清掃活動をボランティア活動として行った。地域の人材を活用した自然体験活動を実施した。(昆布小) ・「職場体験」を通して、勤労の意義や社会貢献について考える機会となっている。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の取組をもとに、計画の改善・充実を図る。(蘭越小) ・CSと連携し、交流活動などを積極的に実施していく。(昆布小) ・さらに様々な体験活動を取り入れ、道徳的価値を高める。(中学校)
家庭や地域と連携した道徳教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の募金での募金活動に児童会で取り組んだ。赤い羽根共同募金では、募金箱を組み立てて社会福祉協議会に贈呈する活動を行うことができた。(蘭越小) ・資料提供や子どもへの励ましのお願いなど、保護者と連携した道徳の実践を行った。(昆布小) ・吹奏楽部の地域貢献としての演奏出演や、町中高生ボランティアへの参加、生徒会活動を中心とした街頭募金活動など、ボランティアや地域連携により、豊かな心の育成に取り組んだ。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現行の取組を継続。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・家庭に対し、さらなる趣旨の理解を促し、地域に生きる人材育成に努めていく。(中学校)

施策項目 6 ふるさと教育の充実

目 標

自分たちの住む地域の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業などに理解を深めるとともに、アイヌの人たちの歴史や文化、北方領土について正しい知識を身に付ける。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 4	R 5	目標 (R 6)
ふるさとへの関心の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した町内児童、生徒の割合	小 62.6% 中 33.3%	小 51.5% 中 43.8%	小 54.17% 中 81.0%	小 80%、中 80% をめざす
アイヌの人たちの歴史・文化に関する教育の実施状況	アイヌの人たちの歴史・文化に関する学習において、資料などを活用した調べ学習や体験を通じた学習を行っている授業の割合 (小・中学校)	調べ学習は行っているが、体験を通じた学習は不十分	(小学校) 調べ学習は行っているが、体験を通じた学習は不十分 (情報機器を活用し疑似体験できるよう取り組んだ。) (中学校) 資料の充実や調べ方を工夫して、調べ学習の充実を図った。また、貯砂内容を深めるためにウポポイの見学を実施した。	(小学校) 調べ学習は行っているが、体験を通じた学習は不十分 (情報機器を活用し疑似体験できるよう取り組んだ。) (中学校) 花一会図書館と協力して、資料の充実や調べ方を工夫して、調べ学習の充実を図った。また、調査内容を深めるためにウポポイの見学を実施した。	施設や人材等を活用した体験を通じた学習の完全実施、100%をめざす
北方領土学習の実施状況	北方領土に関する学習において、資料などを活用した調べ学習や体験を通じた学習を行っている学校の割合	調べ学習は行っているが、資料の活用は不十分	(蘭越小) 情報機器を駆使して調べ学習を実施し、知識に留まらない学びになるよう工夫している。 (昆布小) 調べ学習は行っているが、資料の活用は不十分 (中学校) 1/1時間 社会科の授業で、資料を用いた学習に取り組んだが、調べ学習をすることはできなかった。	(蘭越小) 情報機器を駆使して調べ学習を実施し、知識に留まらない学びになるよう工夫している。 (昆布小) 調べ学習は行っているが、体験を通じた学習は不十分 (中学校) 1/1時間 社会科の授業で、資料を用いた学習に取り組んだが、調べ学習をすることはできなかった。	資料などを活用した調べ学習の完全実施、100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ふるさとの自然や歴史、伝統、文化、産業等に関する教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校における地域の施設や人材、自然環境などの教育資源を活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足、川の学習、米作り、地域調べにおけるインタビューなど、各学年で多様な活動を展開できた。(蘭越小) ・総合的な学習の時間や生活科に、地域の人材や自然環境を生かした学習活動を取り入れることができた。(昆布小) ・町内及び近隣町村で、職場体験学習を3年生で2日間実施し、職業観の理解を深めた。(中学校) ・花一会と連携して、調べ方や学び方など、調べ学習の基礎を身に付けることができた。(中学校) ・旅行的行事で一貫して地域学習を取り入れ、あらためて蘭越町のよさを確認させることができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CS 学校部会を活用した指導計画の改善・充実。地学協働推進員との連携強化。(蘭越小) ・年度計画に沿っての実施や過去の実績、新たな活動内容などを模索していく。(昆布小) ・職場体験学習を継続する。(中学校) ・花一会をはじめとした地域の人的物的資源の活用を積極的に検討する。(中学校) ・旅行的行事での地域学習を継続する。(中学校)
小学校中学年社会科の町内巡り体験の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗センターや旧名駒小の昔の道具見学、各種工場や施設の見学など充実した学習であった。(蘭越小) ・蘭越小学校との合同学習を9月(4年社会科見学)、2月(3年ふるさと学習館)を実施し、体験学習を進めることができた。(昆布小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CS 学校部会を活用した指導計画の改善・充実。地学協働推進員との連携強化。町教委の連携による施設選定。(蘭越小) ・次年度も2校での合同学習を計画的に推進して内容の充実を図る。(昆布小)

(2) アイヌの人たちの歴史・文化などに関する教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
アイヌの人たちの歴史や文化などに関する学習活動、副読本の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に副読本を活用し学ぶとともに、情報機器を活用し疑似体験できるよう学んだ。(蘭越小) ・4年生、6年生において実施し、資料を活用した調べ学習に取り組みさせることができた。(昆布小) ・食文化については、コロナ禍により実施できなかったが、ウポポイ見学を通して、アイヌの歴史や文化について考えさせることができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。(蘭越小) ・今後も継続し、実践の深化を図る。(昆布小) ・今年度、北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業指定校に選ばれており、「アイヌの人たちの歴史・文化等」に関して、更に充実した実践を行う。(中学校)

(3) 北方領土に関する教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
北方領土に関する学習活動、資料を活用した調べ学習の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・島名、位置、歴史等について学び、成果をまとめるなど、子供たちの興味・関心に応じて調べ学習に取り組むことができた。(蘭越小) ・社会科の授業で、資料を活用して調べ学習を行い、主体的に学習に取り組ませることができた。(昆布小) ・社会科において、事前学習として資料を活用して事前学習を行い、さらに自分事として考えさせるために調べ学習を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。ロシアの今後の動向については、配慮しつつ学習したい。(蘭越小) ・効果的な資料の活用及び調べ学習の充実を図る。(昆布小) ・調べ学習を含めた学習活動を継続する。(中学校)

施策項目 7 読書活動の推進

目 標

すべての子どもが、人生をより深く生きる力を身に付けられるよう、自主的な読書活動のための環境整備を図る。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30 又は R1)	R 4	R 5	目標 (R 6)
幼児・児童・生徒 1 人当たりの年間図書貸出冊数	学校図書における、町内児童・生徒 1 人当たりの図書貸出冊数	小 19.0 冊 中 3.9 冊 (H30)	小 11.4 冊 中 4.5 冊	小 14.0 冊 中 5.1 冊	小 25 冊 中 5 冊
読書が好きな児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査において「読書は好きですか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 73.1% 中 72.2% (R1)	小 66.7% 中 71.9%	小 71.4% 中 83.3%	小 80% 中 80%
家庭での読書の状況	全国学力・学習状況調査において「家や図書館で普段 1 日当たりどれくらいの時間読書しますか」に対して「10 分以上」と回答した町内小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 73.0% 中 61.1% (R1)	小 54.5% 中 62.5%	小 66.7% 中 70.8%	小 80% 中 70%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校図書館や花一会図書館の利用促進

① 令和 5 年度の取組の概要	② 令和 5 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校図書館の利用促進と花一会図書館との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・花一会スタッフの尽力により大変緊密な連携が取れている。(蘭越小) ・花一会図書館の巡回指導により、学校図書館を有効に利用した学習活動を行うことで、利用促進を図ることができた。(昆布小) ・ブックトーク、広がる本だな事業、国語における POP 作成の補助、総合的な学習の時間における、アイヌ学習への資料提供など、学校図書館の利用促進に花一会図書館が大きな役割を果たした。また、年度末に各教科の年間指導計画に花一会との連携計画を盛り込んだ。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花一会スタッフに感謝すると共に、連携を継続していく。(蘭越小) ・図書館活用計画を整備し、それをもとにした利用促進を図る。(昆布小) ・年間指導計画に沿って、さらなる花一会図書館の活用を促進する。(中学校)

(2) 学校図書館の環境整備

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校図書館の充実整備	<ul style="list-style-type: none"> ・花一会スタッフの尽力により整った状態をキープできている。(蘭越小) ・花一会図書館に御協力いただき、図書の整備を計画的に行うことができた。(昆布小) ・花一会図書館と連携して、生徒からアンケートをとり、生徒の興味・関心に即した図書の整備を進めることができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花一会スタッフに感謝すると共に、整理整頓された状態を継続する。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・校舎改修工事にともない規模は縮小するが、連携しながら生徒の読書意識を低下させないよう努力する。(中学校)

(3) 家庭での読書環境づくりの啓発

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭・地域・学校等の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を継続して学校での読書習慣をつくとともに、家庭への地道な声かけを継続した。(蘭越小) ・読書週間の定着に向けて家庭への啓発を進めてきた。(昆布小) ・文化専門委員会が図書の紹介を放送専門委員で紹介したり、花一会からの新刊案内を配布したりするなどして、生徒への意識づけだけでなく、家庭への啓発につなげることができた。ただ、生徒の情報端末利用時間の増大にともない、家庭での読書量は減少している。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本での読書に限定することなく、文字に触れることを評価し、励ます環境づくりを行う。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・家庭への啓発を行い、情報機器利用の抑制と読書活動を励行していく。(中学校)

施策項目 8 生徒指導・教育相談の充実

目 標

家庭や地域との連携を一層強化し、共感的な理解に基づく児童生徒理解や評価を工夫するなど、自己指導能力を育てる生徒指導の充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基 準 年 (H30 又は R1)	R 4	R 5	目 標 (R 6)
いじめの解消の状況	文部科学省調査の「いじめの認知件数」のうち、「解消しているもの」の割合	小 100% 中 100% (H30)	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	引き続き 100%をめざす
いじめに対する意識	全国学力・学習状況調査結果において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」という問いに対して「当てはまる」と回答した町内小学校6年生、中学校3年生の児童生徒の割合	小 93.8% 中 77.8% (R1)	小 87.9% 中 81.3%	小 85.7% 中 83.3%	すべての学校で 100%をめざす
ネットトラブルの未然防止の取組状況	携帯等の利用に関する「家庭内のルール」等の整備状況	未実施 (R1)	未実施(情報通信機器活用に関する注意喚起は実施)	未実施(情報通信機器活用に関する注意喚起は実施)	利用(所持)家庭のすべてで 100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校における相談体制の充実や家庭・地域社会との連携を通じた生徒指導の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スクールガードリーダーの巡回(小学校)	・スクールガードリーダーが配置となり、月1回、精力的に巡回いただいた。(蘭越小) ・スクールガードリーダーが定期的に巡回を行った。(昆布小)	・巡回場所の確認作業を定期的実施し、見直しを図る。(蘭越小) ・スクールガードリーダーと連携し、効果的・効率的な安全指導を行う。(昆布小)
スクールカウンセラー配置(中学校)	年間を通して、家庭への支援相談、教職員への助言や情報交流を行った。学校だよりで家庭や生徒へ周知を行い、授業参観を行ってもらい生徒へも浸透したが、実際の活用は少なかった。(中学校)	・給食を子どもと一緒にとってもらうなど、生徒と親しむ機会を設け、さらに周知を行う。(中学校)

(2) いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止・早期対応

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
いじめアンケートの実施等	・全児童にアンケート、聞き取りを実施し、いじめの早期発見、未然防止に努めた。(蘭越小) ・年2回のアンケートを実施し、いじめの未然防止や早期発見、解決につなげることができた。(昆布小) ・いじめの定義とアンケートの意義を参観日全体懇談で保護者全体に周知した。また、アンケート結果を学校だよりで周知した。いじめ認知は数件あったが、重大事案は発生しなかった。(中学校)	・継続。(蘭越小) ・今後も継続し、未然防止に努める。(昆布小) ・いじめが発生しにくいあたたかな学級、学校づくりのため、お互いで認め合う活動を全校で行う。(中学校)

<p>教職員全員による教育相談等の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施し、いじめアンケートと合わせて、安心・安全な学校生活の実験に努めた。(蘭越小) ・アンケートをもとに教育相談を実施し、教職員間の情報共有に努め、未然防止や早期発見に努めた。(昆布小) ・全校生徒対象でどの先生にも相談できる教育相談を年2回、ハイパーQUを年2回行った。1人1人の状況に合わせ、きめ細かな相談を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。(蘭越小) ・全職員で相談内容を共有し、問題行動の未然防止に努める。(昆布小) ・昨年同様の取組を行う。(中学校)
-------------------------	---	---

施策項目 9 体力・運動能力の向上

目 標

学校生活や家庭生活を通じ、日頃から運動に親しませ、体力をしっかりと身につけさせる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目 標 (R 6)
児童生徒の体力・運動能力の状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合得点の町内児童生徒の値 (小学5年生、中学2年生)	全国平均と比較し、小学生はやや上回り、中学生は同程度	小5男 やや上回る 小5女 相当上回る 中2男 ほぼ同じ 中2女 同じ	小5男 やや上回る 小5女 上回る 中2男 ほぼ同じ(上位) 中2女 下回る	小中学校ともに全国平均を上回る
体育の授業以外での運動・スポーツの実施状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、普段の一週間で学校の授業以外で行う運動やスポーツの実施時間	小男 12.8 時間 小女 5.2 時間 中男 13.4 時間 中女 13.0 時間	小男 8.6時間 (全国9.3時間) 小女 9.9時間 (全国5.7時間) 中男 12.7時間 (全国12.5時間) 中女 8.1時間 (全国8.8時間)	小男 8.6時間 (全国9.1時間) 小女 4.9時間 (全国5.4時間) 中男 17.6時間 (全国12.2時間) 中女 7.4時間 (全国8.4時間)	小男・中男女は現状維持、小女は全国平均

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 体育・保健体育授業の改善

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
児童・生徒の体力、運動能力の把握と課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・体育係(元専科教員を含む)が中心となり、これまでの実践の蓄積を活かし、全学年・体力テストの実施、蘭小サーキット、年3回の水泳、スキー学習に取り組んだ。(蘭越小) ・全校児童で新体力テストを実施し、分析結果を生かし、その後の体育授業の改善に取り組んだ。(昆布小) ・昨年同様、全国体力運動能力テストを実施し、分析をもとに教職員で共通理解を行った。また、経年変化をもとに自分事として自ら運動能力や体力を向上させるよう取り組んだ。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も実践の蓄積を活かしながら、活動が停滞しないように体育係を中心に進めていく。(蘭越小) ・今後も分析結果を活用した授業改善に取り組む。(昆布小) ・継続して、丁寧な能力の把握、効果的な能力向上に努める。(中学校)
体育科以外での運動機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・体育係(元専科教員を含む)が中心となり、これまでの実践の蓄積を活かし、短縄、長縄跳び、持久走チャレンジ、姿勢体幹体操、ラジオ体操取り組んだ。(蘭越小) ・休み時間や放課後にクロカンやマラソンに取り組むとともに、放課後こども教室やスポーツ少年団と連携し、運動の機会提供に努めた。(昆布小) ・部活動の推進、昼休みの体育館開放を日常的に行った。また、体育的行事前には、長縄跳び練習など、体力向上のための取組を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も実践の蓄積を活かしながら、活動が停滞しないように体育係を中心に進めていく。(蘭越小) ・今後も運動機会の提供に努める。(昆布小) ・継続して専門委員会を活用して、運動に対する意欲高揚に努める。(中学校)

(2) 少年団活動・運動部活動の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
部活動支援員の活用(中学校)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動支援員を活用し、専門的な指導を行うことにより、技術向上において大いに子ども達に還元することができた。また、教職員の業務削減に大いに貢献した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域移行を推進し、中学生だけではない生涯スポーツの視点を取り入れていく。(中学校)
スポーツ少年団活動の実施(小学校)	<ul style="list-style-type: none"> 野球少年団、サッカー少年団、サッカークラブが学校開放を利用して活動。(蘭越小) 陸上競技など外部講師を招聘し、活動を行うとともに、各種大会への積極的な参加を促した。(昆布小) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も学校開放の連絡調整を行い、活動を支援する。(蘭越小) 社会教育と連携し活動の継続を図る。(昆布小)

(3) 運動・スポーツ施設の整備と運動機会の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
体育施設・用具の充実	<ul style="list-style-type: none"> 体育係を中心に、体育器具室の整備・点検を実施した。(蘭越小) 設備や遊具の点検を行い、事故のないように留意している。クロカン用具については、継続して補充を進めている。(昆布小) グラウンドのライン引きを購入した。また、デジタルスポーツカウンターの寄贈を受け、体育や部活動で活用を始めた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続。また、修繕・更新・導入を教委と連携して進めていく。(蘭越小) 特にクロカン用具は、児童数に対応できるように、計画的に補充を進めていく。(昆布小) 寄贈に心から感謝しつつ、さらに活用を行う。また、引き続き古い備品の更新を行い、環境整備に努める。(中学校)

施策項目 10 食育の推進

目 標

学校・家庭・地域がお互いに連携しながら、児童生徒に食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、健全な食生活を実践できる資質や能力の育成に努める。
 また、安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理の徹底を図るとともに、地場産物食材の積極的な活用に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
児童生徒の朝食摂取の状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「朝食を毎日食べていますか」の設問に対して、「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童・生徒の割合	児童=95.0% 生徒=90.9%	児童=96.9% 生徒=93.8%	児童=96.1% 生徒=93.4%	100%をめざす
学校給食における地場産物の活用状況	学校給食における地場産物の購入状況(購入額における割合)	7.80%	8.90%	8.02%	12%以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育における食育の推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
・各学校と連携・協力し、食事の重要性やマナー、望ましい食事の摂り方の授業の実施	・食に関する授業については蘭越小で6回、昆布小で5回、中学校で3回実施した。 ・栄養教諭は、給食の献立や栄養管理等の本来業務を最優先することから、授業は学級担任や養護教諭と連携して取り進めた。	・各学校の指導計画に基づき、学級担任や養護教諭等と連携を密にしながら年1回以上の食育教育を実施する。

(2) 地域に根ざした食育の推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりには、食材の産地などの表示を実施 ・行事食の積極的な取り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりには産地名など記載し、道内産や地場産など食材を身近なものと感じてもらうように取り組んだ。町のホームページから閲覧できるようにして、保護者への周知機会確保に努めた。 ・地場産野菜の使用を可能な限り優先した。JAようていトマト生産組合蘭越支部から8月にトマト530個、11月に蘭越小学校5年生からゆめぴりか30kg、JAようてい青年部蘭越支部から特別栽培米ななつぼし54kgの寄贈を受け、給食に提供した。 ・4月入学お祝いデザート、5月こどもの日デザート、7月七夕デザート、12月クリスマス献立など行事食を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JA、地元納入業者等と連携調整し、引き続き積極的に地場産品を活用する。

(3) 学校給食における衛生管理の徹底

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所による一斉点検の指摘事項等の早期改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所の監視・指導（R5.6）による指摘事項は、調理員に周知した。 ・器具備品等に関するものは、衛生面等を考慮し随時更新した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理員を研修会に参加させるなど、衛生管理の意識の高揚に努める。 ・器具備品等の管理を徹底し、適切な時期に更新する。

施策項目 11 学校段階間の連携・接続の推進

目 標

児童生徒の発達段階に応じた教育の充実を図り、小中一貫教育の推進や、幼保小、小中、中高の学校段階間の円滑な接続や教科等横断的な学習を重視する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
小中の連携の状況	教職員による合同研修の実施状況	年1回	年1回実施 (感染症対策として町教研・保健部会、事務部会、特別支援部会のみ実施)	町教研各部会による合同研修を実施(各部会2～4回)	年2回実施
乗り入れ授業の実施状況	中から小、高から中への英語の乗り入れ授業の実施状況	未実施	中→小 乗入授業各1回 交流授業各1回 高→中 交流授業 4回	中→小 乗入授業各2回 交流授業各3回 高→中 交流授業 2回	年2回実施
乗り入れ授業、交流授業の実施状況	小・中双方の教員による授業公開・授業交流、高校教員による中学校の授業参観の実施状況(英語科以外の教科)	授業公開 年1回 授業交流 未実施	授業公開 各小学校2回 (内1回学習発表会) 中学校年 4回 授業交流 2回	授業公開 各小学校2回 (内1回学習発表会) 中学校4回 授業交流 1回 (昆布小・中学校→蘭越小)	授業公開年2回 授業交流年1回

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 9年間を見通した教育課程の編成

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
発達段階に応じた系統的な教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程交流会を年4回実施。年間行事予定や総合的な学習の計画を交流し、町内での義務教育が系統的な内容になるよう検討した。(蘭越小) ・教育課程交流会を4回実施し、町内での義務教育が系統的な内容になるよう検討を行った。(昆布小) ・教育課程交流会において、系統立てたあたたかい学級経営や、総合的な学習の時間について交流・整理を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・探求活動を取り入れた総合的な学習の時間について、2カ年計画で改変していく。(中学校)

(2) 発達段階に応じた系統性のある学習規律や生活のきまりの定着

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>発達段階に応じた系統性のある学習規律や生活のきまりの定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程交流会を年4回実施。学習規律・授業改善・温かい学校づくりのマネジメントを作成し、小中3校で共有した。また、「よくわかる蘭越小」を作成し、町内で共有した。(蘭越小) ・発達段階に応じた学習規律の徹底・改善と、生活リズムチェックシートによる生活習慣の改善に取り組んだ。(昆布小) ・町教研の小中連携部会において、発達段階に合わせた学習規律として、授業中に机に置く物や学習のルールを策定した。また特に話し方、聞き方について、9年間を見通した身に着けさせたい力について確認した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・中1ギャップの解消に向けて、系統的な学習・生活のきまりの策定について、時代に応じて加除修正していく。(中学校)

施策項目 12 学校運営の改善

目 標

教職員が子どもと向き合う時間を確保できるよう、多忙化の解消に向けた働き方改革を推進するとともに、学校のマネジメント機能の強化を図り組織として教育活動に取り組む体制を構築する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
在校時間から勤務時間等を減じた時間	教職員の在校時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間数を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内	調査未実施	一部の教員においては達成できていない	一部の教員においては達成できていない	100%
定時退勤日の実施状況	業務改善や勤務時間の意識化による月2回の定時退勤日の実施状況	調査未実施	完全実施	完全実施	100%
部活動休養日の実施状況	特別な場合を除いて、平日1日、土・日どちらか1日の部活動休養日の実施状況	調査未実施	完全実施	完全実施	100%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 教職員の時間外勤務等の縮減に向けた「蘭越町アクションプラン」の取組

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校閉庁日や定時退勤日等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み、冬休みの学校閉庁日、毎週金曜日の定時退勤日に取り組んだ。推進委員会にて、次年度に向けて職員会議実施回の精選や余剰時数の見直し、ペーパーレス化推進の計画を立てた。(蘭越小) ・夏期休業中に6日、冬期休業中に11日、計17日間の学校閉庁日を設定した。また、月2回の定時退勤日を設定し取り組んだ。(昆布小) ・夏季休業中に3日間、冬季休業中に8日間の閉庁日を設け、月に2度の定時退勤日を設定した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・立てた計画の着実な実施、ICT活用等での業務の効率化、推進委員会での組織的改革、面談を活用して個人内の改革を推進する。(蘭越小) ・普段から定時退勤ができるよう計画的な業務推進に努める。(昆布小) ・緊急の場合を除き、定時退勤に向けて、業務軽減や計画的業務推進を徹底する。(中学校)

(2) 部活動の改善に向けた「蘭越町立学校に係る部活動の方針」の取組

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生徒のバランスのとれた学校生活や教師の部活動指導における負担軽減(中学校)	休養日をとれるようになり、生徒・教職員の負担軽減に大いにつながった。	生徒にとっては家庭での時間が増えるため、適切な時間の使い方の指導が必要である。

施策項目 13 学校安全教育の充実

目 標

自他の生命尊重の理念に基づいて、児童生徒が自ら危険を予測・回避し、他の人や社会の安全に貢献できる資質能力を育成する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
安全学習	学校安全の全体計画を策定し、各教科の年間指導計画に計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校の割合	全体計画、年間指導計画において位置付けを行っているが、計画性、系統性が不十分	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校 1校 (蘭越小) 計画的な実施に向け、年間指導計画の一部見直しを行った学校 2校 (昆布小・中学校)	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った。(全小中学校)	100%をめざす
安全指導	家庭や地域、社会教育と連携し、学級活動、学校行事などにおいて安全に生活する態度を育成する活動を行った学校の割合及び実践事例	家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分	関係機関と連携し、一定の実践ができている (蘭越小) 家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分 (昆布小・中学校)	関係機関と連携し、一定の実践ができている (全小中学校)	100%をめざす 実践事例の蓄積 【連携団体】 ・後志振興局 (防災担当) ・警察署 ・消防署 ・町交通安全担当 ・町教委スクールガードリーダー

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 安全学習

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学習活動における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した全体計画をもとに、各教育活動の中で実践した。(蘭越小) ・各教科の学習の中で、計画をもとに安全学習を行った。(昆布小) ・保健体育科で主に安全な行動について、家庭科で食の安全について、技術科で安全な機器の取り扱いについて学習した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続しつつ、評価、改善する。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・実生活と教科での学習の関連をもたせ、安心して安全な生活をするよう啓発する。(中学校)

(2) 安全指導

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>学校生活や学級活動、学校行事における取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車教室や歩行教室など町住民福祉課と連携して、児童の安全な登下校の実現に向け指導した。また集団下校訓練を2回実施し、暴風雪等に備えた。(蘭越小) ・学級活動や、交通安全教室などの学校行事で安全指導を実施した。(昆布小) ・交通安全教室、防犯教室などの特設授業の他、日頃の学校生活を安心・安全に送ることができるよう、日々啓発を含め指導した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続。集団下校訓練は、内1回を「保護者引き渡し訓練」に変更して、より実効性の高いものとする。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・行事や学期の終わりなど、節目で安全に学校生活を送ることができたかを振り返らせる。(中学校)

(3) 防災教育

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>避難訓練の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、不審者、火災を想定した避難訓練を実施した。不審者想定では、倶知安警察署・蘭越駐在所の協力の下、実効性の高い訓練となった。(蘭越小) ・火災、地震、不審者などの想定で、避難訓練を実施した。(昆布小) ・年に2回の避難訓練(火災、地震)を実施した他、1日防災教室において、避難所運営ゲームを行い、防災意識の高揚に努めた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、不審者に代えて土砂災害を想定した訓練を実施する(隔年実施)。(蘭越小) ・今後も内容の改善や想定の変更を行いながら継続していく。(昆布小) ・次年度も防災意識が低下しないよう、計画的に実施していく。(中学校)

施策項目 14 学校と地域の連携・協働の推進

目 標

学校と地域が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てていくため、学校と地域がパートナーとして連携・協働した組織的な取組の推進。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
地域への参加の状況	全国学力・学習状況調査の「今住んでいる地域への行事に参加していますか」に、「ある・どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	「地域社会などでボランティア活動に参加したことはあるか」に対して「ある」と回答した児童生徒の割合 小 74.2% 中 69.2%	小 60.6% 中 65.6%	小 85.7% 中 25.0%	「地域社会などでボランティア活動に参加したことはあるか」に対して「ある」と回答した児童生徒の割合 小 90%以上 中 90%以上
地域とのかかわりの状況	全国学力・学習状況調査の「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったか」に、「ある・どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	小 90.3% 中 82.1%	質問項目なし	質問項目なし	小 100% 中 100%
コミュニティ・スクールの導入	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、各学校において効果的な運用を図る	未導入	導入	導入	導入

点検・評価の課題と今後の方向

(1) コミュニティ・スクールの導入・推進

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の教育力や特色を活かした学校づくり・子どもの活動拠点づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・CS学校部会では、CS委員が児童の活動写真への「応援メッセージ」を添える取組を通して、「学校の応援団」として活動できた。総合的な学習の改善・充実に向けて、現行の計画を委員と共有し、貴重な意見を頂いた。(蘭越小) ・学校経営案や学校評価など、コミュニティスクールの機能を進められた。(昆布小) ・各行事において、学校運営協議会中学校部会の方に案内を出し、参加してもらった上で、学校運営協議会を開催した。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の取組を継続するとともに、総合的な学習の時間をはじめとした教育活動の改善・充実に力点をおいた取組に力点をおいて取り組みたい。(蘭越小) ・学校部会ごとの活動を活性化し、特色有る学校づくりを進めていく。(昆布小) ・次年度以降も、参加していただく行事を増やしていきながら、コミュニティスクールが機能する学校づくりに努める。(中学校)

(2) 特色ある学校づくりの推進

① 令和5年度取組概要	② 令和5年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
<p>学校と地域をつなぐ人材の活用した特色ある学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未だコロナ禍から止まったままの活動もあったが、一部再開し、3・4年の地域学習を中心に人のつながりを再確認できた。次年度以降、有意義な実施に向けて計画したい。(蘭越小) ・総合的な学習の時間で、地域の人事を活用するなどして、地域の特性を再認識する授業を行った。(昆布小) ・花一会図書館の協力のもと、ブックトークや広がる本だな事業を行ったほか、蘭越町防災士の方の協力のもと港地区津波避難タワーの見学・体験を行った。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地学協働推進員との連携のもと、地域人材や教育資源のさらなる活用を目指す。(蘭越小) ・地域人材が活用しやすい人材バンクやコーディネーターの配置などを充実させていく。(昆布小) ・今年度から地域学校協働活動推進員が配置されることから、地域に根ざした子どもの育成を目指し、連携していく。(中学校)

施策項目 15 地域に根ざした高校づくりに向けた支援

目 標

蘭越高校で学びたい、学ばせたいという認識と蘭越高校が地域に欠くことのできない学校であるという認識の醸成による入学者の確保。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基 準 年	R 4	R 5	目 標 (R 6)
蘭越中学校からの蘭越高校への入学率	高校存続に向け、地元の生徒の入学率の維持向上	10% (10/40人) (R1)	35.2% (12/34人)	33.3% (9/27人)	33%
学校間連携による外国語の授業の実施	高校の教員・生徒による幼保小中への乗り入れ授業、TT※等の実施	未実施 (H30)	高→蘭越小 3回実施 高→昆布小 1回実施 高→中学校 4回実施	高→蘭越小 1回実施 高→昆布小 1回実施 高→中学校 2回実施	すべての校種での実施を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生徒募集に向けた効果的な支援

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生徒のニーズや資質を把握したきめ細かな学習指導や進路指導	3年間を通してキャリア教育を実施し、生徒自身が様々な職業について体験することで、自分の特性や興味・関心のある職業について考える機会となっている。また、1・2年時には2回、3年時には3回の進路希望調査を行い、教育相談等を通じて細かな進路指導に努めている。(中学校)	継続して、生徒が自ら自身の進路について考える機会を確保するとともに、生徒の希望進路に向けた学習支援の充実に努める。(中学校)

(2) 連携した外国語教育の充実

① 令和5年度の取組概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校が連携した外国語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭越高校英語担当教諭との調整を図りながら、今年度は場所を蘭越高校に変え、高校生も交えて交流授業を実施した。(蘭越小) ・中学校教員、高校教員の外国語授業への乗り入れを行った。(昆布小) ・ワーキングチーム会議を年2回行い推進した。また、乗り入れ、授業参観・交流を通して、系統立てた外国語教育を充実させることができた。(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭越町外国語教育連携推進事業ワーキングチーム会議で検討しながら、これまでの活動の継続・発展を目指す。(蘭越小) ・高校の負担にならない範囲で、連携が進められるように配慮する。(昆布小) ・接続をスムーズにするよう、きめ細かく引継ぎを行い、継続した事業を行うことができるようにする。(中学校)

施策項目 16 家庭の教育力の向上

目 標

子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組みを促進し、親子と地域のつながりをつくる取組みを行いながら、社会全体で支える体制づくりを進めます。また、子育て中の保護者が、気軽に悩みを共有できるきっかけになる場の提供に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
家庭教育に関する適切な情報提供	専門家の視点での情報提供回数	町広報紙の生涯学習情報コーナーに、年5回掲載	年5回 (継続掲載)	年5回 (継続掲載)	年5回 (継続掲載)
相談体制の整備	家庭教育に関する専門相談窓口の紹介	ポスター掲示による専門相談窓口の紹介	継続	継続	町HPからのリンク
学習機会の充実	町青少年健全育成推進委員会や町PTA連合会との連携により開催している「青少年健全育成研究集会」の内容	毎年、講演内容や生徒発表のテーマを変え実施	講演会・学校を核とした地域づくり	講演会 コミュニティスクールのあり方とその意義	学校・家庭・地域が相互学習できる場になるよう、内容充実に努める。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭教育に関する適切な情報提供

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
定期的な家庭の教育機能の回復に役立つ情報の提供	子育て相談「親御さんから学んだこと」として、質問コーナーを設け、町広報紙の生涯学習コーナー「こぶしにまなぶ」に掲載し、情報提供やQ&Aを行った。	令和6年度も引き続き、子育てお悩みのQ&A(仮称)とし、相談とアドバイスを紙面で掲載する。

(2) 相談体制の整備

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子育てに不安や悩みを持つ保護者からの相談に応えるため、関係機関や専門家による相談窓口を紹介	ポスター掲示、パンフレットを活用し、関係機関や相談窓口の紹介を行った。	役場や関係機関では、現下での取組みを実施している。

(3) 学習機会の充実

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校・家庭・地域が連携し、家庭教育に関する学びや悩みを共有し、対象者が集まりやすい学習機会の提供	青少年健全育成研究集会兼町PTA連合会研究大会を開催し、地学アドバイザーを招きコミュニティスクールの運営やそのあり方についてお話をいただいた。	家庭・学校・地域が相互学習できる場になるよう、内容の充実に努める。

施策項目 17 子育て支援の充実

目 標

地域の力を結集して、子育て支援の取組みを行い、地域全体で子どもが見守られているという安心感を保護者に与えられる体制整備を進めるとともに、子育てを支援する地域の人材発掘と育成に努めます。また、参加しやすい親子コミュニケーションの場の提供に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
子育て中の親子の交流機会の提供	就学前親子交流事業「まめっこクラブ」の参加世帯数	まめっこクラブ 7 世帯(30 世帯中)	会員登録を止め、その都度、参加者の募集	会員登録を止め、その都度、参加者の募集	まめっこクラブ就学前年長児世帯数の3割をめざす
地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進	放課後子ども教室の週開設日	家庭・学校・地域の関係団体の協力のもと、放課後子ども教室の開設日を週5日まで拡大した	維持	維持	放課後子ども教室の週5日開催(維持)

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 子育て中の親子の交流機会の提供

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子ども同士の交流と保護者の仲間づくりの機会を提供	全5回の事業を実施。都度、自分たちのニーズ合わせた事業の参加で行った。	事業実施当初は、関係機関や団体では、類似事業を実施していなかったが、昨今では、いろいろな形で、開催されており、当初の目的が達成されたことから、まめっこクラブを廃止し、事業の支援や協力を行う。

(2) 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域や学校の実情を踏まえながら、放課後の子どもたちが安全安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点づくりに努める	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを進めるため「昆布小学校放課後子ども教室」を開設。H29年度から週5日開設。 開設日数 182日 当初予定 190日 会員数 昆布小学校児童 45人 (全校児童 45人)	地域や学校の実情を踏まえ、放課後の子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点を維持する。

施策項目 18 多種多様な学習機会の充実

目 標

学んだ成果が生かされる各種体験教室や各種講座の継続開催に努め、障がいの有無を問わず、だれもが学びのきっかけとなる学習機会を提供します。また、多様な学習ニーズに応じることができるよう、様々な分野の知識や技術、技能を持って活動している人材の把握に努めるとともに、生涯学習の概念が定着してきたことから、生涯学習フェスティバルのあり方を見直します。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
生涯学習活動の充実	学んだ成果を生かす場の提供	サークル・団体の協力を得ながら、各種体験教室や各種講座を開催している	町民センター講座の開催 (人数制限での実施)	町民センター講座の開催 (人数制限での実施)	学んだ成果を生かす場の効果的な開催をめざす。
学習情報の提供	町広報紙への生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の掲載回数	年12回	年12回	年12回	年12回 (維持)

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生涯学習活動の充実

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
日頃の学習成果を発表、紹介する機会を提供する	令和元年度の開催を最後に、生涯学習フェスティバルを終了したことから、各種講座(教室)を開催し、体験と発表の場を設けるよう努めた。 ・町民センター講座 10講座 ※荒天から中止 2講座	当初の事業計画ほか、ニーズや要望、情報収集を行い、実施が可能なものは、取入れながら開催する。

(2) 学習情報の提供

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
身近な生涯学習の取組みを紹介し、町広報紙の生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の内容充実を図る	教育委員会や関係機関・団体が実施した事業や翌月の行事など、身近な生涯学習活動を紹介したほか、家庭教育通信を継続して掲載した。	広報誌との統合で紙面割を考察すると、情報の提供や報告が、重複掲載となることから、他の課局と同じように、情報の提供で、紙面作成をしない方向で検討したい。

施策項目 19 生涯学習体制の充実

目 標

生涯学習推進委員会の各部会を中心に、生涯学習推進計画「らんらんプラン21」の定期的な点検を継続するとともに、生涯学習ボランティアを育成、活用する体制づくりに努めます。また、庁内関係部署や関係機関において様々な視点で開催されている町全体の生涯学習に関する事業を把握し、学習機会の情報提供を行います。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
学習機会の情報提供	生涯学習カレンダー(年間予定表)の発行月	4月発行	4月発行	4月発行	4月発行
生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進計画の定期的な点検・評価・改善の継続	年度末に点検、評価を行い、次年度の計画に反映させている	継続	継続	継続

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学習機会の情報提供

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
生涯学習に関連する様々な事業の年度日程を把握した生涯学習カレンダーを発行し、年間を見通した学習機会の情報を提供する。	各学校、幼稚園、保育所、図書館、生涯学習課、スポーツ課等の各種事業をカレンダー形式にとりまとめ、4月に発行した。	役場課局では、担当課で町HPに入力できることから、「町のイベント」情報に掲載することで、多くの方に周知ができるとともに、詳細を掲載(検索)することもできる。 ※6年度から廃止。

(2) 生涯学習推進体制の充実

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
生涯学習推進委員会による生涯学習推進計画の定期的な点検確認を行い、生涯学習事業の内容の充実を図る。	生涯学習推進委員会の各専門部会による担当領域事業の評価(前期・後期)を行い、全体会議で各専門部会の評価を共有し、翌年度の取組みへ反映させている。	第6次蘭越町生涯学習推進計画「らんらんプラン」の内容を実行するため、点検、評価、反映のサイクルを維持する。

施策項目 20 生涯各期に社会教育活動の推進

目 標

生涯学習の基礎となる「自ら学ぶ」「学びたい」の動機付けやきっかけとなるよう、より身近な学習機会の提供に努めます。また、高齢化時代に対応した高齢者向けの交通安全教室を行うなど、人生のライフステージにおける課題や学びの方向性を示し、関係機関と連携した事業展開を図ります。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
学校教育と連携した活動の推進	学校からの要請により、地域の人材を派遣する	授業補助 スポーツ少年団支援 下校時見守り	小学校教 科学習へ の支援	小学校教 科学習へ の支援	派遣する地域 人材の把握と 育成をめざ す。
地域と連携した活動の推進	イングリッシュキャンプの参加人数	38人(125人中)	定員30人 とし開催。 ※対象を 1年生か らした。	(英語で) デイキャ ンプに移 行。	小学校3～6 年の児童数 の30%の参加 をめざす
いきいきとした学習活動の推進	高齢者学級自主運営	会員の高齢化、会員数の減少	65歳以上の町民を対象に講座を開催	65歳以上の町民を対象に講座を開催	活動内容を 精査し、自主 運営と事業充 実をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育と連携した活動の推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校からの要請により地域の 人材を派遣する学校支援地域 本部事業の充実を図る。	総合的な学習の時間や各種体験活動 に人材を派遣した。また、蘭越町交通 安全指導員と連携し、下校時見守り支 援を実施した。	生涯学習ボランティア バンクの在り方を検討 したい。(地域の人材確 保と育成が急務)

(2) 地域と連携した活動の推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域と連携しながら、時代に 即した世代間交流を図る。	イングリッシュキャンプを廃止し、実 践的かつ、身近に英語を感じてもら うため、デイキャンプに移行。 ・親子 5組 11名	令和6年度から、親子 を対象に、町民センタ ー講座または生涯学習 推進講座で英語を学ぶ 機会を図る。

(3) いきいきとした学習活動の推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
高齢者のニーズや社会情勢に合 わせた講座を開催し、学習意欲の 向上を図る。	日常生活が、明るく元気に過ごすこと が、できるように講座を開設した。 ・スマホ教室 1講座 19名 ・いきいき美容教室 1講座 15名	社会教育事業は生涯学 習課で企画し、その都 度、参加者を募る。

施策項目 21 芸術文化活動の推進

目 標

芸術鑑賞や伝統文化に触れる機会を充実させるとともに、地域の文化を担う人材育成の取組みに努めます。また、郷土芸能の後継者育成のための伝承活動支援に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
芸術の鑑賞 機会の提供	児童生徒を対象とした舞台 芸術の提供機会回数	年1回	町民を対 象	町民を対 象	年1回(維持)
郷土芸能伝 承活動への 支援	老朽化した道具の更新	太鼓修理 (2台)	修理・補修 なし	修理・補修 なし	年次計画に より補修を 進める
(仮称)曲子 光男記念館 の整備	本町出身の日本画家 曲子 光男氏の作品群を活用、保管 するための(仮称)曲子光男 記念館の整備	(仮称)曲子光男記 念館検討委員会に おいて、検討中。令 和元年9月答申され た。	庁舎内検 討委員会 の検討終 了	庁舎内検 討委員会 の検討終 了	教育文化活 動への活用 と劣化を防 ぐための収 蔵設備の整 備を進める

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 芸術の鑑賞機会の提供

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
子どもの豊かな感性や個性を 育むために、児童生徒を対象 とした舞台芸術の鑑賞機会を 提供する。	過年度は、児童生徒を対象としていたが、 4年度からは、町民を対象として、総合体 育館で開催した。 ・劇団風の子北海道 来場者 40名	6年度から「蘭越町芸術文化 事業」に移行し、個々の芸術 文化鑑賞及び開催事業者に 対し、支援を図る。

(2) 郷土芸能伝承活動への支援

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
郷土芸能保存と伝承を行って いる団体の活動を支援すると ともに、発表機会の提供に努 める。	コロナの規制が緩和したことから、町 内外での祭事、イベント事業に参加 (活動)。	町内外でのイベント事業 の参加に対し、支援と協 力を図る。

(3) (仮称)曲子光男記念館の整備

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
山村開発センター改修検討委 員会で、展示及び活用につい て盛込み検討を図る。	併設施設の決定、作品保全のあり方、 常設展示スペースの必要性等の検討 を行った。検討終了。	山村開発センター改修 検討委員会へ、庁内検 討委員会での検討内容 を提言していく。

施策項目 22 文化財の保存と活用

目 標

地域への愛着や誇りを育むきっかけとなるよう、郷土資料の整備や保存、調査・研究をし、知ってもらえる環境の整備に努めます。また収集した、時代とともに姿を消した農業用機具や生活用品の整理と保存を進め、貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう、適切な維持管理に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
郷土資料の有効活用	小学校の社会科見学での活用	年1回	随時	随時	随時(維持)
郷土資料の保護と保存	文化財跡地説明板等の設置数	港大照寺跡遺跡への説明版設置(1か所) (元年:3箇所(立川小、立川遺跡、川上小) R2:1箇所(旭台小))	川蒸気船船着場	貝殻沢駅通所、初田中学校・三和小学校・港小学校跡地	年1~2か所ずつ整備する

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 郷土資料の有効活用

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
子どもの頃から、より身近に蘭越町の文化に触れられる学習機会の提供	収集した農業用機具や生活用品等の郷土資料の整理を行い、展示、清掃を行った。	ふるさと学習館内の展示物説明文の記載内容の充実を図る。

(2) 郷土資料の保護と保存

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
文化財跡地や学校敷地等の説明板を設置し、郷土資料として後世に伝える取組みに努める。	説明板のサイズや形状を設置箇所にあわせ変更し作成した。	記念碑、文化財跡地の標柱等設置を、今後も計画的に整備していく。また、マップを作製し史跡の周知をするとともに、活用を図る。

施策項目 23 みんなが集う花一会図書館

目 標

町民や地域のニーズに合った図書資料の選書、郷土の歴史や文化に関する地域資料の収集に努めるとともに、町民の知りたい情報や技術を図書資料を通して支援する、学習・情報拠点としての図書館機能の整備を取り進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R4	R5	目標 (R6)
貸出冊数	個人貸出冊数 (年間町民一人当たり)	5.8 冊	9.8 冊	8.9 冊	6 冊 (2 ヶ月に1冊) 以上を目指す
来館者数	花一会図書館年間来館者数	21.8 千人	20.0 千人	21.5 千人	2 万人台の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和5年度の取組の概要	令和5年度の取組の成果や課題	今後の方向性
<p>■町民のニーズを捉えた図書資料の選定、収集 (毎週、新刊を含む図書の購入、陳列)</p>	<p>図書 購入回数 81 回、購入冊数 1,581 冊 雑誌 30 誌 212 冊 週刊誌は 1 誌を定期購読・配架</p>	<p>雑誌については、利用者アンケートを実施して、利用頻度等を勘案しながら適宜入れ替える。</p>
<p>■月例での館内テーマ展示の実施</p>	<p>月例で中央、絵本室テーマ展示を 12 回実施。エントランスに話題本、新刊本展示を常設、随時入れ替えして展示した。</p>	<p>継続する。</p>
<p>■定期的な読書案内の発信</p>	<p>図書館だよりを奇数月 6 回発行 郷土探索など読み物的な要素を組み込む 郷土探索の道 学校編 3 回 郷土探索の道 番外編 3 回</p>	<p>継続する。</p>
<p>■ホームページや SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を活用した図書館情報の発信</p>	<p>SNS (Facebook, X (旧 Twitter), Instagram) で新刊本、館内展示、図書館活動状況を随時発信した。</p>	<p>SNS、ホームページとも発信情報がマンネリ化しないよう、発信情報の多様化に留意する。</p>
<p>■図書館講座 (絵本講座、趣味の講座等) の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4/18 「ママにもできるチャイルドカット」～美容室 KAZU ・6/23 真珠まりこ氏講演会「もったいないばあさんの話」～開催協力 ・7/30 「遊びがかわれば子どもがかわる」～おもちゃ屋キンダーリーブ ・8/26 「クレヨンカンパニー人形劇」～北海道文学館出前講座 ・10/1 ハープ&朗読の会 ・11/19 「ママにもできるチャイルドカット」～美容室 KAZU 	<ul style="list-style-type: none"> ・4/13 「どのアブラが体に良いの？」開催 ・5/1 「ママにもできるチャイルドカット」開催 ・7/6 写真絵本作家小寺卓矢氏講演会開催 ・10/5 ハープ&朗読の会開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・12/6 「もう迷わない！本物の健康情報 はちみつはどうして体に良いの？」～中村紫乃氏 	
<p>■図書館祭り等の各種催し物の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8/5 第6回蘭越ブキニスト開催 ※ 暑さ対策のため開催時期の変更を検討 	7/13 に開催予定
<p>■図書館ボランティアの協力による定期的なおはなし会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・びよびよおはなし会 月1回（第1金曜日）、乳幼児親子を対象に職員によるおはなし会を実施 9回 延32人参加 ・おはなし広場 月1回（第3日曜日）、すべての町民を対象に職員とボランティアによる読み聞かせ等を実施 11回 延べ103人 	継続する。

施策項目 24 外に飛び出す図書館活動

目 標

乳幼児から高齢者まで、あらゆる機会とあらゆる場所において読書活動ができるよう、移動図書館や施設内文庫の設置などの図書館活動を積極的に取り進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R4	R5	目標 (R6)
施設内文庫配本冊数	施設内文庫設置箇所数、年間配本冊数(学校除く)	10 か所 3,403 冊	16 か所 7,560 冊	15 か所 6,924 冊	10 か所、 3,500 冊以上を目指す
学習支援資料提供数	小中学校授業支援提供図書年間冊数(児童・生徒一人当たり)	小学校 8.8 冊 中学校 2.3 冊	小学校 7.6 冊 中学校 1.2 冊	小学校 8.6 冊 中学校 1.2 冊	小学校 10 冊以上、中学校 4 冊以上を目指す
学級文庫配本回数	小中学校の学級文庫への年間配本回数	5 回	昆布小 5 回 蘭越小 5 回 中学校 5 回	昆布小 5 回 蘭越小 5 回 中学校 5 回	年間配本回数(5回)の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和5年度の取組の概要	令和5年度の取組の成果や課題	今後の方向性
■ブックスタート事業の実施	・ブックスタート 健やか健診時偶数月6回実施 14組に絵本2冊を贈呈 ・ブックセカンド 3歳児を対象として随時実施 22組に絵本1冊を贈呈	継続する。
■幼稚園・保育所、子育て支援センター施設内文庫の設置	ひばり幼稚園 9回 1,105冊 昆布保育所 6回 497冊 蘭越保育所 9回 1,572冊 支援センター 6回 419冊 昆布温泉病院保育所 4回 107冊 ベアーズこども園 4回 183冊	各保育所、幼稚園、ベアーズこども園と連携して、小さい頃から図書館に慣れ親しんでもらえるよう取り進める。
■放課後子ども教室・学童保育所への移動図書館の実施、施設内文庫の設置	子ども教室 16回 710冊 (文庫設置 5回 193冊) 学童保育所 12回 381冊 (文庫設置 12回 178冊)	移動図書館で読み聞かせ、ブックトークなどを行い、読書に親しむ機会を積極的に設けていく。
■学校図書館巡回派遣事業の実施、学校図書館図書センター事業の充実	巡回派遣 延べ144日(3校)	各学校の学校図書館利用計画の策定を取り進める。

<p>■小学校～「みんなの本だな事業」による学級文庫の充実</p>	<p>みんなの本だな 昆布小2回、蘭越小2回実施 学級文庫配本 昆布小5回 1,194冊 蘭越小5回 3,134冊</p>	<p>継続して、みんなの本だな事業を年2回実施する。</p>
<p>■中学校～「ひろがる本だな、生徒が作る学級文庫事業」による学級文庫の充実</p>	<p>ひろがる本だな 1回 1日間で全学年実施 移動図書館による生徒が作る学級文庫 1回 各学年1日間実施 学級文庫配本 5回 1,232冊 ※小学生から中学生になると不読率が大きく上昇する傾向が継続している。</p>	<p>本との関わりを持たせ、読書をするきっかけを作り続けていく。</p>
<p>■保健福祉センター・各役場出張所施設内文庫の設置</p>	<p>保健福祉センター 12回 829冊 目名出張所 7回 396冊 昆布小職員室 5回 83冊 蘭越小職員室 9回 305冊 蘭越中職員室 5回 90冊</p>	<p>あらゆる場所において、自主的な読書活動を行うことができるよう施設内文庫の増設に取り組む。</p>
<p>■お手軽文庫（訪問サービス専門員の安否訪問時に在宅高齢者へ配本）の実施</p>	<p>延べ96人、993冊配本</p>	<p>健康推進課と連携しながら読書サービスの実施を継続する。</p>
<p>■高齢者生活福祉センター、老人施設等への移動図書館の実施、施設内文庫の設置</p>	<p>高齢者生活福祉センターこんぶ 個人貸出 24回 439冊 文庫設置 24回 559冊 高齢者生活福祉センターめな 文庫設置 12回 408冊 昆布温泉病院 個人貸出 24回 777冊</p>	<p>大活字本の蔵書を増やすなど可能な限りリクエストに応えた配本としていく。</p>
<p>■一般住民を対象とした移動図書館の実施</p>	<p>いろはな BOOKS 町内事業所従業員を対象に図書館司書が選書した本5冊を2週間ごとに配本交換する取組 蘭越町役場 利用者8人 873冊 蘭越郵便局 利用者1人 95冊 講演・イベント他会場での移動図書館の開設 実施回数7回 延べ20人 23冊</p>	<p>いろはな BOOKS は利用者の意見も聞きながら継続を検討する。講演・イベント他会場で意欲的に移動図書館を開設する。</p>

施策項目 25 生涯にわたるスポーツ活動の推進

目 標

各種スポーツ施設の充実に伴い、健康・体力づくりに対する関心が高まってきており、子どもからお年寄りまで、生涯スポーツ活動に親しむ意識の啓発をするとともに、スポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブの連携を強化し、町民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
ニュース スポーツの 推進	新たな種目の取組と普及	ニュースポーツ 大会の開催	ニュースポーツ 大会は新型コロナ ウイルス感染症 対策により中止。 。	コロナウイル ス感染症で 中止となっ ていた大会 を三年ぶり に開催。	新種目のニ ュースポー ツの紹介・普 及を 目 指 す。
スポー ツライ フの 推進	本町の自然や施設等を活 用したスポーツ事業の普 及と推進	各種スポー ツ行事の開 催(体力測定 会、歩こう 会、登山等)	活動種目ご とに創意工 夫をしながら 活動の充実 を図り、交流 に努めた。	活動種目ご とに創意工 夫をしながら 活動の充実 を図り、交流 に努めた。	現種目の継 続とより一層 の充実と推 進を 目 指 す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ニュースポーツの推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
ニュースポーツの推進	スポーツ推進委員が主催する大会 で、新種目のポッチャを取り入れ、 小学生から高齢者まで、異年齢間 で交流する事ができた。	スポーツ推進委員と連 携しながら、異年齢間 で行うことのできる種 目の選定と、普及に努 める。

(2) スポーツライフの推進

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツライフの推進	町民登山や歩こう会は、参加希望者 が少なかったため、中止とした。 開催時期等の検討が必要。 町民を対象にした体力測定会は、小 学生から高齢者まで幅広い年齢層の 参加者で開催できた。	総合型地域スポーツク ラブ(らんスポ)との 連携を強化し、活動の 充実と推進を図る。

施策項目 26 児童生徒のスポーツ活動の充実

目 標

スポーツ協会等の協力を得ながらスポーツ少年団活動の充実を図り、指導者の育成や児童生徒を対象とした各種スポーツ大会等の開催・支援に努め、より多くの児童生徒がスポーツとふれあう機会を増やすなど、底辺の拡大を図る。

さらに、スポーツを通じて交流を深める機会を提供するとともに、気軽に楽しく参加できる教室を開催する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 4	R 5	目標 (R 6)
スポーツ少年団活動の育成・強化	誰もがスポーツ・レク活動に親しめる環境づくりを進め、より多くの児童生徒が楽しく参加できる活動内容	スポーツ少年団の交流事業等を推進	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、交流事業の開催に努めた。	各スポーツ少年団での大会が開催され、道大会への出場もあり、各少年団の強化が示された。	指導者の養成及びスポーツ少年団員の交流事業の開催を目指す。
各種スポーツ教室等の開催	スポーツ教室等の開催状況	各協会・連盟により各種スポーツ教室を開催	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、水泳教室、スキー教室を開催。	幼児・小学生を対象に水泳教室とスキー教室を開催しました。	スポーツ協会と連携し指導者の育成及び各種スポーツ教室の充実を目指す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) スポーツ少年団活動の育成・強化

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ少年団への支援を充実させ育成に取り組む。	支援を継続して行っていますが、各競技において団員数や指導者数の減少が見受けられる。団員確保が早急の課題で指導者については、スポーツ協会からの指導者派遣等の協力も必要。	スポーツ少年団組織の確立を図るため、スポーツ協会の競技団体との連携に努める。

(2) 各種スポーツ教室等の開催

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各競技団体が主催するスポーツ教室の開催。	年長、小学生を対象にした水泳教室、スキー教室を開催。多数の幼児、小学生の参加があるが、各教室での指導者確保が課題である。	スポーツ協会やスポーツ少年団等が連携して主催するスポーツ教室の継続開催に努める。

施策項目 27 スポーツ環境の充実

目 標

より多くの町民が安心安全にスポーツに親しみ、既存施設の効率的かつ効果的に利用できるよう努めるとともに、老朽化により改修等が必要な施設については、緊急性の高いものから計画的に改修や維持補修を進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年(H30)	R 4	R 5	目標(R 6)
施設の有効利用	各種施設の有効利用状況	各種施設の有効利用や効率化を図るため、関係協議団体と調整	町外団体へも積極的に施設の開放を行った。	町外団体へも積極的に施設の開放を行った。	各種施設の有効利用を目指す。
施設の計画的改修整備	老朽化する各種施設の整備状況	老朽化する各種施設改修等の整備計画を検討	野球場大規模改修、駐車場の増設	館内暖房ボイラー修理、館内給水ポンプ修理、体育館玄関・屋外駐車場外灯新設。	整備計画を作成し、老朽化施設の改修を目指す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 施設の有効利用

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各種スポーツ施設の有効利用	総合体育館の有効利用を図るため、夜間利用団体打ち合わせ会議を開催し利用調整に努めた。少年団活動や総合型地域スポーツクラブ、高齢者スポーツ活動にも継続した利用があった。 トレーニング室は、継続して利用される方々、また、町内外利用者の増加で利用者数が増えた。	施設の有効利用を図り、利用者が快適に使用できるよう努める。

(2) スポーツ施設の計画的な改修整備

① 令和5年度の取組の概要	② 令和5年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ施設の計画的な改修整備	大規模な改修は無かったが、老朽化による設備の細かな修理等が出てきている。限られた財源の中、緊急性の高いものから、改修、修理に努める。 計画的な施設整備に向けた財源確保が課題。	施設を利用する方々に、安心して利用して頂けるよう、施設整備に努める。

第 3 章 外 部 評 価

第 3 章 の ポ イ ン ト

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条第 2 項に、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること」が定められていることから、評価の客観性を高めるため、外部評価委員による点検評価を行いました。

1 外部評価委員による評価・意見

(1) 学識経験者

役 職	氏 名	所 属 等
委員 長	住 吉 邦 幸	蘭越町民生委員児童委員協議会長
副委員 長	檜 伊 佐 夫	元蘭越中学校校長
委 員	福 島 雅 史	元蘭越町PTA連合会長
委 員	守 田 英 樹	蘭越高等学校長

(2) 聴取日等

日時 令和6年8月20日(火) 午前9時00分～午前11時15分

場所 蘭越町役場3階会議室

(3) 主な意見

① 教育委員会の活動状況について

教育委員会議は12回開催され、条例、規則や要綱等の制定と改正、教育予算等の審議など教育を取り巻く環境の変化に迅速、かつ適切に対応されている。また、各事業に対して予算を適正に執行している。

長らくコロナウイルス感染症の影響により、多くの制約を受けてきたが、状況も変わったことから、行事や研修への積極的な参加を計画し、学校等の情報収集と変化する各種教育制度にしっかり対応するなど、教育行政の推進に努められたい。

② 教育推進計画に基づく点検・評価について

令和2年度から令和6年度を計画期間とする「蘭越町教育推進計画」に基づき、学校教育に係る分野15施策項目、社会教育に係る分野12施策項目について、具体的な取り組みが行われており、その成果や課題等、適切な自己評価が実施されている。

【学校教育】

「特別支援教育の充実」では、支援を要する子が一定の人数がいるとの報告を受け、特別支援連携協議会や各校、各関係機関の連携を通じて、引き続きすべての子供たちが明るく楽しい学校生活を送ることができるよう配慮されたい。

「食育の推進」では、安心安全な学校給食への取り組みを行い、子供たちの希望も取り入れたメニューを考慮されたい。

「学校段階間の連携・接続の推進」では、小中学校及び高校が連携し、教育課程交流会を設置、開催し、中1ギャップの解消、学校間共通課題の解決、調整、指導方法の統一などに取り組んでいるとのことで、引き続き町内の義務教育が系統的なものになるよう継続していただきたい。

「地域に根ざした高校づくりに向けた支援」については、高校が生徒、保護者それぞれに魅力を伝える取り組みを進めている、また町の支援により初めての海外見学旅行も実現

し、非常に有意義だったとの報告があり、今後も魅力ある高校づくりに向けた応援を継続されたい。

【社会教育】

「芸術文化活動の推進」では蘭越町内の伝統芸能を披露する場が後継者不足やコロナ禍で減少したこともあり、貴重な地域文化として保存、継承し、地域の方が目にする機会を作る取り組みを期待したい。

「児童生徒のスポーツ活動の充実」について、野球を例にしても町内でスポーツに取り組む子供たちが減少しているが、他の地域で活躍している子もいることから、まずは大人がスポーツに取り組むことで、指導者の発掘や育成につながり、子供たちのスポーツ振興に寄与するのではないかと思慮しますので、大人も含めたスポーツ環境の整備に取り組んでいただきたい。

(4) 総合評価

教育委員の活動状況の点検及び教育推進計画に基づく27項目の施策についての評価を行った。

教育委員会会議は定期に開催され、教育の諸課題に迅速、かつ適切に対応されており、状況に応じた議論や協議がなされている。また、教育推進計画に基づく各施策項目については、進捗状況及び成果や課題が具体的に整理され、課題に対する今後の取り組みも示され、適切な執行管理がなされており、今年度、見直し作業に取り掛かるとのことであるが、新しい課題や緊急の問題など情勢に応じた対応をされたい。

教育をめぐる情勢は、社会の状況や人間の価値観を指標としながら、ボーダレスで多様性の時代における方向感の見えにくいものになってきている。教育委員会は、地域の特性やニーズを認識、把握したうえで、次代を担う子どもたちが未来を切り開き、持続可能な社会を作り出すため想像豊かに力強く歩んでいける教育を着実に推進し、地域を構成するすべての人が豊かで幸せな社会を実現することで希望の持てる取り組みを進めていただきたい。

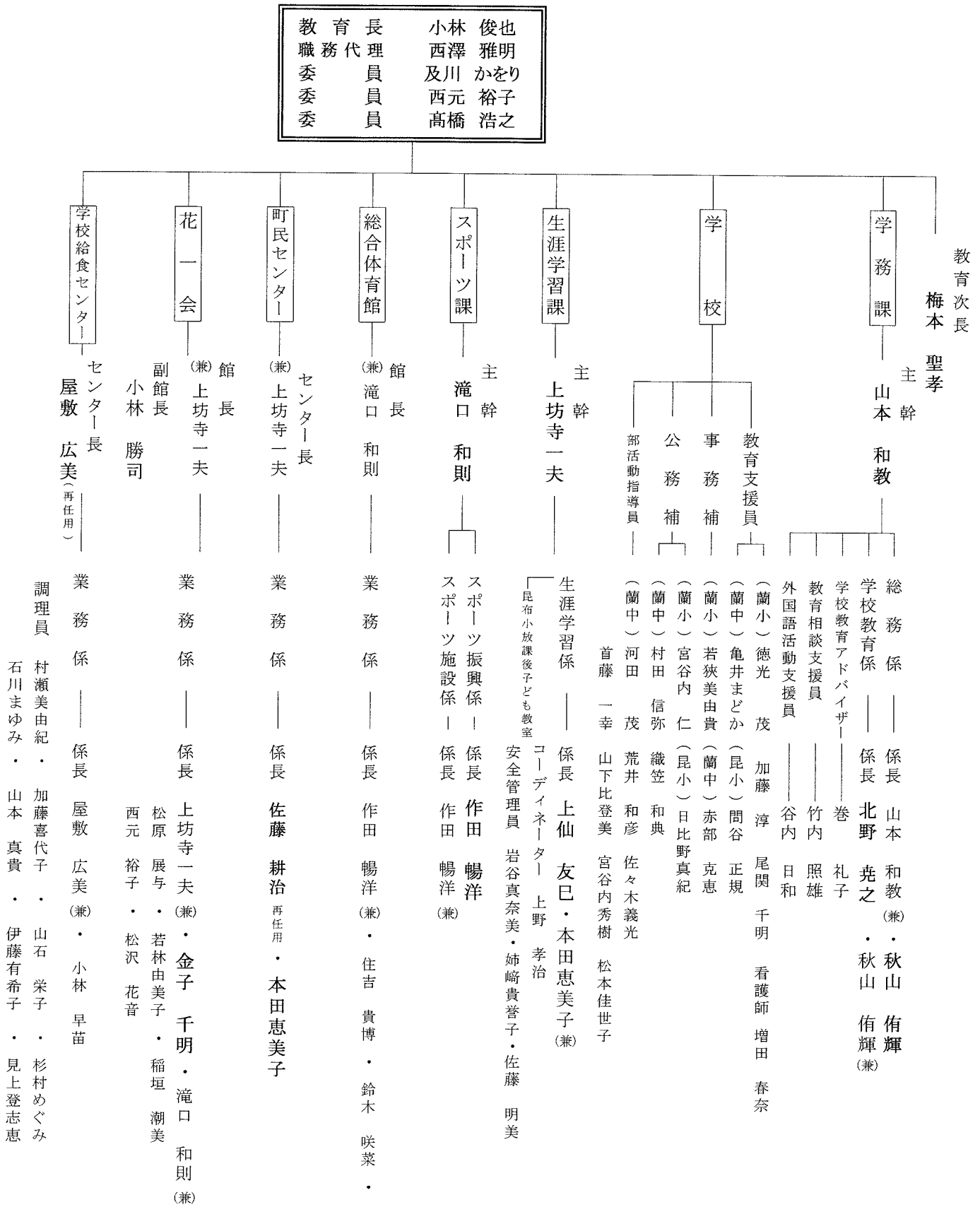
令和6年度は、現行の教育推進計画が最終年をむかえることから、施策の着実な目標到達と、時代の変化に合わせた事業の見直しを行い、教育に関する諸施策を町政全般とのバランスも勘案しながら展開していくことを期待する。

資

料

1 教育委員会行政組織機構図

令和5年4月1日



2 学校の児童生徒・教職員数

児童生徒数

令和5年5月1日現在

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
昆布小学校	7	9	9	9	6	7	47
蘭越小学校	20	21	28	30	26	17	142
小学校計	27	30	37	39	32	24	189
蘭越中学校	34	37	27				98
計							287

教職員数

(道費負担職員)

令和5年5月1日現在

学校名	教員	養護教諭	事務職員	栄養教諭	合計
昆布小学校	8	1	1		10
蘭越小学校	18	1	1	1	21
蘭越中学校	15	1	1		17
計	41	3	3	1	48

※休職、期付含む

(町費負担職員)

学校名	支援員	事務補	公務補	看護師	合計
昆布小学校	1		1		2
蘭越小学校	3	1	1	1	6
蘭越中学校	1	1	2		4
計	5	2	4	1	12

3 施設利用者数

(1) 町民センター利用者

生涯学習 サークル		各種教室・会議 等		商工会・コミュ ニティ団体		行政関係・その 他		合 計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
925	4,642	109	2,035	57	2,401	374	6,019	1,465	15,097

(2) 町民プール利用者

幼 児	小学生	中学生	高校・一般	団 体	町外者	計
335	1,310	240	857	1,417	75	4,234

(3) 体育施設利用者

総合体育館		運 動 公 園				山 村 広 場		
一 般	団 体	野球場	こぶし パーク	ゲート ボール	XCスキー 他公園施設	多目的 広 場	サーモン パーク	テニス コート
13,564	7,117	4,446	302	309	未集計			※572
20,681		5,057				572		

※推計

(4) 目名サッカー場利用者

	幼児	少年団	中学校	その他	観客	計
利用日数	0	18	18	高4 一般5		45
利用者数	0	454	426	高150 一般158		1,188

(5) トレーニング室利用者

	男子	女子	計
町内利用者	2,002	1,407	3,409
町外利用者	334	100	434

(6) 花一会図書館利用者

来館者数	貸出冊数	新規登録者
21,577 人	57,438 冊	142 人

令和5年度 蘭越町立昆布小学校 学校評価

学校教育目標	たくましく	経営の重点	「自分の考えをしっかりと持ち、表現し合える子どもの育成」	評価方法	○教職員アンケート(設問数21)保護者アンケート(設問数9)、児童アンケート(設問数10)について実施 ※7月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○教職員アンケート、保護者アンケート、児童アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校関係者評価を行う。	評価基準	4 十分達成されている	学校運営協議会昆布小学校部会			蘭越町立昆布小学校 校長 三上 智之 印
	3 ほぼ達成されている						委員				
	2 あまり達成されていない						部長 大室 真一	校長 三上智之	近藤 里志		
	1 全く達成されていない						山田 恵	志比川 武	林 千恵		

重点目標	教職員評価項目	第1回		第2回		保護者評価項目	第1回		第2回		児童評価項目		第1回		第2回		分析・考察	改善策	学校運営協議会専門部会による評価の妥当性	学校運営協議会専門部会からの意見要望
		第1回	第2回	第1回	第2回		第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回						
知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力・ツール活用能力の育成	1	主体的な学びによる確かな学力の向上を図っている。(主体的で対話的な深い学びの視点による指導方法の改善「個人思考」と「集団思考」の場面の定着 ゴールを明確にした授業づくり)	3.7	3.4	学校では、授業内容の充実による一人一人のよさを生かし、個別指導やグループ学習など基礎学力を高めていく中で、自分の考えを表現できるよう、取組を進めてきた。	3.7	3.6	(低)自分の考えを発表したり、友達の話をしっかり聞いたりすることができる。 (中)自分の考えをわかりやすく伝えたり、友達の発表を自分の考えを比べたりすることができる。 (高)自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の意見を聞いたりして、みんなの意見や考えをまとめることができる。	3.5	3.4	3.6	3.5	【重点項目】特に高学年ではタブレットを使った発表の力が向上している。目標値(3.5以上、肯定90%以上)もクリアしている。	来年度も、重点目標として、さらに伸ばしていきたい。	妥当である	地域人材の活用などCSに求められている期待は大きい。様々な分野について学校の授業に協力できる地域人材をリスト化するとともに、地域と学校をつなぐコーディネーターの整備が必要である。CSの活動が学校経営方針の承認だけで終わらず、地域住民が学校運営を支援・協力しやすい年間スケジュールを検討したほうがよい。昆布小の参観日の出席率は非常に高い。				
	2	家庭学習の習慣化と学習機会や時間の確保を図っている。(学習方法の提示 自主ノートの点検や交流 放課後の学習活動の実施)	3.6	3.3	学校では「家庭学習の手引き」にもとづき、家庭学習の習慣化を測るための取組を進めてきた。	3.0	3.0	毎日家庭学習をしている。(1年生10分 2年生20分 3年生30分 4年生40分 5年生50分 6年生60分以上)	2.8	3.1	3.1	3.1	昨年よりも向上している。多様な家庭学習の内容を紹介したり、年度途中でプリントを発行したりして意識の向上を図った。	今後も取組を継続する。						
	3	学習過程が統一され、子どもたちも学習のしかたが浸透しているか。(自分たちで考え学習を進めていく力)	3.6	3.3				(低)次に自分が何をしたらいいかわかる。 (中)次に何をしたらいいかわかり、自分たちで学習を進めることができる。 (高)学習のしかたを自分なりに考えて進めることができる。	3.5	3.3	3.5	3.3	【重点項目】目標値はおおむねクリア。3学期からは単式学級でも複式での算数授業体験を進め、学び方の定着を進めている。	複式の良さであるところの自主的な学習の仕方の定着を今後も進めていく。						
	4	子どもの学びを保障するため年間指導計画を工夫・改善し、指導の充実を図る。(各教科等の年間指導計画の適切な実施と工夫・改善)	3.3	3.4	学校では、探究的に地域を学ぶため地域人材を積極的に活用した、総合的な学習の指導の改善充実を図る取組を進めてきた。	3.4	3.4	(低)生活科の学習などでは、学校の周りの虫や草花を調べたり観察したりしている。 (中)総合的な学習の時間などでは、昆布や蘭越の自然について学習している。 (高)総合的な学習の時間などでは、昆布や蘭越の産業について調べ学習をしている。	3.4	3.6	3.4	3.5	生活科・総合的な学習の中で、地域の学習素材を生かした学習が進められた。	地域人材の活用に関しては、今後も年間指導計画へ組み入れて進めていく。						
	5	情報活用能力の向上と情報モラルの徹底を図る。(リモート授業実施のための校内研修の推進及びプログラミング教育を取り入れた教科指導の実施 ICT機器の活用 情報モラルの向上 リモート学習の導入)	3.4	3.3	学校では、子どもたちがICT機器に慣れ親しめるように、タブレット等を積極的に使用した授業を進めてきた。	3.3	3.4	学校では、タブレットや実物投影機などをよく使って学習している。	3.6	3.7	3.4	3.5	【重点項目】目標値をクリア。低学年でも昨年度よりタブレットを使った指導場面を増やしてきた。次年度より道教委実施のチャレンジテストもタブレット利用に移行する。	今後もタブレット利用についての職員研修を進め、活用場面を増やしていく						
	6	効果的な教育活動によるキャリア教育の充実を図る。(各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の学習活動を通じた横断的なキャリア教育の推進。キャリアパスポートの活用)	3.0	3.1																
学びに向かう力と協調性、健やかな体の育成	7	道徳的価値と向き合う指導の充実を図っている。(考え論議する道徳科の授業 全教育活動を通じた道徳性の育成 児童の心の成長を促す活動の充実)	3.3	3.4	学校では、授業の充実など道徳科の授業の改善及び道徳教育の充実を図る取組を進めてきた。	3.5	3.3	(道徳では)友だちの考えも聞きながら、何が正しいことなのか、自分で考えることができる。	3.6	3.3	3.5	3.3			妥当である	校舎の温度が校舎外から確認できるシステムを活用するなど、今後も児童の健康管理・安全管理に努めてほしい。				
	8	「共感する」「認め合う」「つながり合う」の意識を高める指導の充実を図っている。(頑張り認め合う「温かい学校づくり」の推進 いじめを生まない土壌づくり 基本的な生活習慣の徹底 気持ちの良い挨拶 相談体制の確立による児童のストレスの緩和 活動への意欲喚起)	3.7	3.6	学校では、学級活動や縦割り班活動など集団の一員として仲間と協調して行動し、いじめアンケートの実施などいじめの未然防止を図る取組を進めてきた。	3.5	3.4	友だちと助け合ったり、親切にしたりすることができる。	3.6	3.6	3.6	3.5								
	9	新体力テスト等の結果の活用及び健康の保持増進、体力づくりの意識化を図る。(教科体育における新体力テストの結果の活用、全校的な取り組みと放課後子ども教室、スポーツ少年団との連携による運動の習慣化)	3.7	3.1	学校では、体力テスト等で子どもたちの体力を測るとともに、体育の授業の改善や業間遊び、放課後子ども教室やスポーツ少年団との連携などの取組を進めてきた。	3.6	3.5	進んで体育や運動に取り組んでいる。	3.7	3.8	3.7	3.5	全校マラソンは猛暑により、開始時期を遅らせて実施した。クロコランは蘭越小より用具を移管したことで数量を確保した。	全校マラソンは暑さ指数を確認し、安全に万全を期して実施する。						
	10	一人一人の成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図っている。	3.4	3.8																
	11	学習規律の育成についての指導内容の明確化と組織的・継続的な取組を図っている。	3.4	3.3				学校では、学習のきまりをよく守っている。	3.6	3.3	3.5	3.3								

教師力の向上	12	専門職としての資質の向上を目指す校内研修の充実を図っている。(授業研究等研修活動の推進 OJTによる資質・能力の向上)	3.4	3.5					3.4	3.5			妥当である	危機管理については、通学路の安全維持のため、排雪の状況など積極的に関係機関に働きかけていったほうがよい。	
	13	教職員の協働体制の充実を図り、業務の効率的な推進を図っている。(働き方改革の推進)(相談体制の構築 組織的な協働体制 職員会議のペーパーレス化や学校行事の見直し、教材等の継続的な使用等による業務内容の改善)	3.2	3.1					3.2	3.1	校務支援システムを有効活用して朝の打ち合わせや会議を減らすなどで子どもと向き合える時間を確保した。	学校からのアンケートをオンライン実施にするなども検討する。			
	14	教育公務員としての服務規律の遵守を図っている	3.9	3.9						3.9	3.9				
	15	危機管理と危機への対応力の充実を図っている。(防災訓練、不審者対策等の充実 安全点検 危機管理マニュアルの見直しと共通理解)	3.6	3.5	学校では、安全、安心に過ごせる教育環境を整えるよう避難訓練や街頭指導、校外外の危険箇所の点検などに取り組んできた。	3.5	3.6			3.6	3.6				
	16	特別に支援を必要とする児童への理解を深め、個別の指導・支援計画に基づき組織的な対応を図っている。(支援方策の検討と具体化 研修活動の充実 ユニバーサルデザインの視点からの教室環境の整備)	3.7	3.6						3.7	3.6				
地域とともにある学校づくり	17	教育目標、重点目標の家庭・地域との共通理解と具現化を図っている。(学校ランドデザインの家庭・地域への啓発)	3.2	3.0						3.2	3.0		妥当である	教職員による学校評価結果が厳しすぎる。教職員の皆さんには、学校の取組に自信を持ってほしい。CSの関係者評価については、教職員・保護者に出された意見をきちんと共有してほしい。もっと、CS委員と教職員・保護者が話す場面を作ったほうが良い。	
	18	CSとの連携により地域の人的・物的資源を活用した授業実践の推進を図っている。	2.8	2.5						2.8	2.5	項目4に同じ			
	19	保育所、町内小学校・中学校との交流活動、連携の充実を図っている。	2.6	2.8						2.6	2.8	今年度より蘭越小との合同社会科見学を再開した。昆布保育所との交流も進めている。			
	20	各種お便りや懇談会、行事等を通して、分かりやすくタイムリーな情報提供を図っている。	3.7	3.5	学校では、わかりやすく・見やすい情報発信、学校公開等による教育活動の可視化を図る取組を進めてきた。	3.4	3.5			3.6	3.5	昨年度より向上。コロナ禍が終わり保護者が来校し懇談する機会が増えたことも向上の一因と考える。			
	21	学校評価や月別学校運営計画等を活用し、PDCAサイクルによる実践事項の評価、教育課程への反映を図る。	3.3	3.3						3.3	3.3				

令和5年度 蘭越町立蘭越小学校 学校評価

<p>【学校教育目標】 ◇つくり出す子 (かしこく) ◇助け合う子 (やさしく) ◇たくましい子 (たくましく)</p>	<p>【経営方針】 (1) 全教職員が経営参画意識をもち、積極的・創造的な協働体制を確立し、柔軟かつ変化に対応した学校づくりを推進する。 (2) 「どの子もかけがえない存在」として一人一人を大切に教育を実践する。 (3) 変化する社会の中で自分のよさを発揮し、支え合い、力を合わせて共に生きるための基礎となる力を育む。 (4) 学びのユニバーサルデザインを実践し、誰もが喜びを感じる学校づくりを進める。 (5) 保護者、地域との連携を一層深め、地域信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>【評価方法】 ○保護者アンケートと教職員アンケートをリンクさせて実施(設問数12)。 ※7月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○保護者アンケートと教職員アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校運営協議会評価を行う。</p>	<p>【評価基準】 4～よい 3～おおむねよい 2～もうすこし 1～要努力</p>	<p>【学校運営協議会委員】 佐々木 雄三 初山 亜美 福原 明美 安田 智恵子 金崎 徳子(校長) 浅井 貴広(教諭)</p>
--	--	---	---	--

重点項目	具体的な実践(学校経営方針より)	学校評価アンケート	保護者評価・自己評価(1回目) 実数は平均値、百分率は良好な回答割合				分析・考察	改善策	保護者評価・自己評価(2回目) 実数は平均値、百分率は良好な回答割合				協議会委員からの意見		
			保護者	教職員	保護者	教職員			保護者	教職員	保護者	教職員			
<p>【確かな学力】～育てたい資質・能力の育成を目指す学習指導～ ①「主体的・対話的・深い学び」を実践する授業改善 ②わくわく学び、自分で考え行動する子を育てる授業 ③一人ひとりの学習状況に応じた支援の工夫</p>	<p>(3)-②校内研究の活性化と検証、公開、改善、蓄積、継承(情報交換、公開授業の実施、外部講師等の招聘) (4)⑤⑥朝読書は火・木、朝活動は月・水・金に教室で静かに落ち着いてできることを行う (4)☆挨拶、返事、言葉遣い等の基本的な生活習慣、態度を育成します。(児童アンケート・挨拶90%以上)</p>	<p>【確かな学力】学習規律の指導を継続的に行うことにより、学習の準備や姿勢、約束事などが身についた。</p>	3.2	3.3	92.6%	100.0%	保護者・教職員共に高評価である。児童の「学ぶ姿勢」についての指導の成果を理解いただいている。	今後も学習規律の定着・深化を目指し継続して取り組む。	3.1	3.1	91.0%	94.1%	引き続き保護者・教職員共に高評価である。児童の「学ぶ姿勢」についての指導の成果を理解いただいている。	今後も学習規律の定着・深化を目指し継続して取り組む。	○現行の取組を継続し、今後も学習指導の充実を図ってほしい。 ○3(家庭学習の定着)については、保護者としては、わが子に「学年×10分」が確実に定着しているかどうかと問われると、このように厳しい評価になってしまう。一定の時間の目安は必要なので今後も提示してほしいが、子ども個々の実態のちがいやその日ごとの状況もあるので、柔軟に考えていくと思う。学校が改善策を立てて取り組んでくれていることについては十分理解している。
	<p>(1) ②基礎的・基本的な知識・技能の習得と既習の活用方法を判断させ、言語活動を通して思考力・判断力・表現力の育成に努める。 (2)①主体的、対話的で深い学び、個別最適な学びと、協働的な学びを実現する。 (2)②わくわく学び、自分で判断し考え行動する授業を構築する。 (2)④単元を基本につながりを意識し、1単位時間を大切に授業づくりを進める。 (2)⑤英語教育の充実～蘭越町外国語教育連携推進会議事業を推進する。 (3)①開かれた研修と子供に資質・能力を育成する授業実践を積み重ねる。(情報交換、公開授業の実施、外部講師等の招聘) (3)③積極的な研修会、研究会への参加、選流(教材分析、教材研究、指導技術、授業展開等々の力を身に付け、授業改善を図る)</p>	<p>【確かな学力】「課題」や「まとめ」、「振り返り」、「書く活動」を設定により児童に「学び方」の基礎が定着した。</p>	3.1	3.3	87.7%	95.0%	保護者・教職員共に高評価である。児童の「学び方」についての指導の成果を理解いただいている。	今後も継続して組織的な授業改善や研修の活性化に取り組む。	3.2	3.2	88.1%	100.0%	引き続き保護者・教職員共に高評価である。児童の「学び方」についての指導の成果を理解いただいている。	今後も継続して組織的な授業改善や研修の活性化に取り組む。	
	<p>(2)☆学習習慣の確立を目指す家庭学習の定着を目指します。</p>	<p>【確かな学力】家庭学習の手引き等によって家庭学習(学年×10分)が定着した。</p>	2.9	2.7	65.4%	65.0%	保護者・教職員共に厳しい評価である。授業改善と一体的に家庭学習定着を目指しているものの、成果を実感できていない。	児童が「学年×10分」を目安として家庭学習の習慣が身に付いている実感を持つよう、学校では現在の取組を点検・改善しつつ今後も継続して取り組んでいく。	2.7	2.5	64.2%	58.8%	引き続き保護者・教職員共に厳しい評価である。	継続的な課題である。学校では宿題支援と「手引き」に基づいた自主学習支援を継続し、アンケートや児童の係活動などで機運を高めていく。	
	<p>(2)③一人ひとりの学習状況に応じた支援の工夫(支援員の活用) (2)☆基礎学力(知識・技能)の確実な定着とそれを基にした思考力・判断力・表現力を育成します。 (8)①特別支援教育の推進と一層の充実、校内体制の条件・環境整備、研修の促進</p>	<p>【確かな学力】支援員の活用や個別指導、宿題・家庭学習の取組等により、学習内容の基礎・基本が定着した。</p>	3.2	3.3	88.9%	100.0%	保護者・教職員共に高評価である。学習内容の定着について実感いただいていると考える。	今後も確実な定着を目指し、学習指導の充実を図る。	3.2	3.0	92.5%	88.2%	保護者・教職員共に高評価である。学習内容の定着について実感いただいていると考える。	今後も確実な定着を目指し、学習指導の充実を図る。	
<p>【健やかな体】～生命を尊び自らを鍛える心を大切に健康教育～ ①体力向上のための体育授業の工夫と体育的活動の企画・実施 ②健康教育や食育指導を通して、健康に関する基本的な生活習慣指導の徹底 ③自他の生命を尊重し、安全な生活を送るための意欲向上と安全教育の充実</p>	<p>(5)④健康に関する基本的な生活習慣指導の徹底に努める。 (5)⑤自他の生命を尊重し、安全な生活を送るための意欲の向上を図るとともに、知見に基づいた感染症対策を徹底する。 (5)☆生活リズムチェックシートを活用し、基本的な生活リズムの確立や朝ご飯をしっかりと食べて登校するように保護者への啓発を行います。 (5)☆食育指導を通し、地産地消や栄養バランスについての知識や健康についての関心を高めます。 (11)①健康な心身を育むための基本的な生活習慣の励行、確立を目指す「健康・安全教育」の充実(挨拶、早寝早起き、うがい手洗い、歯磨き、体力向上の取組等) (11)③栄養教諭と連携した「食育」の推進</p>	<p>【健やかな体】基本的な生活習慣、集団生活でのルールやマナーを指導し、定着していた。</p>	3.3	2.9	90.1%	80.0%	保護者から高評価。生活指導や生命尊重、健康、食育と幅広い取組の成果とみられる。一方で教職員は保護者に比べてやや厳しめある。	教職員がとらえた生活面での課題について、「伸びしろ」という意味合いで保護者に積極的に伝え、連携して指導にあたるようにする。	3.2	3.1	91.0%	94.4%	保護者は引き続き高評価であり、教職員の評価も向上した。教職員が意図的に取り組み、結果として児童の変容を実感できたと考えられる。	生活指導や生命尊重、健康、食育と幅広い取組を通して生徒指導に取り組んでいく。	○長縄(8の字跳び)など、継続して取り組んでいることで、できなかったことができるようになっており、子どもたちの自信になっている。
	<p>(5)①体力向上のための体育授業を工夫する。 (5)②体力向上を目指した体育的活動の企画・実施と日常の体育的活動を継続する。 (5)③体育的活動を通し、主体的に運動に親しむ意欲や協働する態度、規範意識の育成に努める。 (5)☆体力向上を目指した体育的活動の企画・実施と日常の体育的活動を継続的に取り組みます。 (5)☆自分の体の成長や健康に関心をもち、望ましい生活をしようとする態度の育成を図ります</p>	<p>【健やかな体】体力テストの結果をもとに、その取組を改善し、継続的に取り組んでいた。</p>	3.0	3.3	76.5%	90.0%	教職員は高評価、90.0%に対して保護者76.5%と厳しめであった。保護者の体力向上への関心や期待が高いことが伺えるとともに、現行の取組やその成果が保護者に見えにくいのではないかと考えられる。	現行の取組を保護者に周知し、理解を得られるようにするとともに、体力テストの結果等実態を踏まえて取組を焦点化していく。	3.1	3.1	83.6%	84.2%	保護者の評価が向上した。1回目評価後の改善策(情報発信)が効果を生んだこと、また体力テストの結果を2学期末に提示したことで理解が深まったことが要因と考える。	体力テストの結果をもとに、現行の取組を検証・改善して取り組んでいく。	○体力テストでは、子どもは自分の体力を数値で見ることができると、励みになっている。

<p>【豊かな心】～自分も相手も大切にできる道徳的実践力を育む道徳教育～</p> <p>①いじめを「しない」「させない」「許さない」豊かな人権感覚を育成する</p> <p>②相手の立場で考えることのできる児童を育てる</p> <p>③自尊感情を高める「心の教育」「命の教育」「生徒指導の機能を活かした生かした教育」の推進</p>	7	<p>(6)①学校生活や学級の課題を見だし、合意形成や意思決定、協働する学級活動の充実</p> <p>(6)②異年齢集団で協力し、自主的・実践的に問題解決に取り組む児童会活動の充実</p>	<p>【豊かな心】子どもたちは、友達のよさに気づいたり、自分のよさに気づいたりできた。</p>	3.3	3.1	93.8%	95.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。学級活動や児童会活動の成果を実感いただいていると考える。</p>	<p>今後も継続して学級活動・児童会活動の充実に取り組む。</p>	3.3	3.0	92.5%	88.9%	<p>引き続き保護者・教職員共に高評価。学級活動や児童会活動の成果を実感いただいていると考える。</p>	<p>今後も継続して学級活動・児童会活動の充実に取り組む。</p>	<p>○いじめについては、今後もそのサインを見逃さずに対応するよう努めてもらいたい。</p> <p>○ネットトラブルについては、スマホなどの情報機器を扱っている子どもがどんどん低年齢化している実態であり、保護者としてはとても心配である。このことから、学校で情報リテラシー教育に取り組んでくれていることはとても有り難い。今後も時代の流れに対応した内容でお願いしたい。</p>
<p>②相手の立場で考えることのできる児童を育てる</p> <p>③自尊感情を高める「心の教育」「命の教育」「生徒指導の機能を活かした生かした教育」の推進</p>	8	<p>(8)①いじめを「しない」「させない」「許さない」豊かな人権感覚を育成する。</p> <p>(6)③集団への所属感や連帯感、公共の精神を養い、よりよい学校生活を築く学校行事の充実</p> <p>(7)①生徒指導の機能（自己決定・自己存在感・共感的な関係）を生かした教育の推進</p>	<p>【豊かな心】児童が学級への所属感や連帯感を持ち、活動が楽しいと感じる学級づくりが行われていた。</p>	3.3	3.3	91.4%	95.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。いじめ防止や学校行事、生徒指導の機能を生かした指導の成果と考える。</p>	<p>今後も継続して取り組むとともに、特にいじめ防止には全職員が一丸となり徹底して取り組んでいく。</p>	3.3	3.2	89.6%	94.4%	<p>引き続き保護者・教職員共に高評価。いじめ防止や学校行事、生徒指導の機能を生かした指導の成果と考える。</p>	<p>今後も継続して取り組むとともに、特にいじめ防止には全職員が一丸となり徹底して取り組んでいく。</p>	
<p>④これまでの教育実践と先端情報機器による新たな学習の推進</p> <p>⑤小小・小中・小高・幼保小連携の推進</p>	9	<p>(4)②相手の立場で考えることのできる児童を育てる。</p> <p>(4)③思いやりや自尊感情を高める「心の教育」「命の教育」を推進する。</p> <p>(4)☆特別の教科「道徳」の質的な充実と実生活への実践化を進めます。</p>	<p>【豊かな心】生命を尊重する心や他を思いやる心を育てていた。（道徳の授業の充実）</p>	3.3	3.2	88.9%	95.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。道徳の授業づくりを要として、温かい学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も校内研修でも取り上げながら道徳の授業づくりに取り組んでいく。</p>	3.3	3.2	88.1%	94.1%	<p>保護者・教職員共に高評価。道徳の授業づくりを要として、温かい学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も校内研修でも取り上げながら道徳の授業づくりに取り組んでいき、日常生活で実践できるよう指導していく。</p>	
<p>【開かれた学校】～地域に開かれた安心安全な学校づくりの創意・工夫～</p> <p>①ふるさととのよさを学ぶ学習の工夫（CSなど）</p> <p>②地域の教育資源を生かした外国語・外国語活動の実践</p> <p>③地域の自然環境に目を向けた「環境」「防災」教育の充実</p> <p>④これまでの教育実践と先端情報機器による新たな学習の推進</p> <p>⑤小小・小中・小高・幼保小連携の推進</p>	10	<p>(1)③地域の特色を生かし、体験・探究的な活動を取り入れた総合的な学習の時間の推進に努める。</p> <p>(1)④GIGAスクール構想～これまでの教育実践と先端情報機器による新たな学習を推進する。</p> <p>(4)④家庭・地域との連携と人材活用を進める。</p> <p>(7)③教育委員会、関係諸機関との連携強化</p> <p>(8)②②保護者との合意形成、保護者・地域・関係機関との連携</p> <p>(10)①積極的な学校教育活動の情報提供(学校便り、学級通信、各種通信の発行、掲示)</p> <p>(10)②授業参観、学級懇談、家庭訪問の充実</p> <p>(10)③コミュニティスクールの充実、学校教育と社会教育、社会体育等との連携協力</p> <p>(10)④幼保小連携、小小連携、小中連携、小中高連携の推進</p> <p>(11)②地域と連携した安全教育の充実と校舎内外安全点の実施</p>	<p>【開かれた学校】保護者や地域と連携し、校外学習や外部講師を活用して体験的・共感的な学習を行った。</p>	3.0	3.2	79.0%	90.0%	<p>保護者はやや厳しめの評価となった。学校に積極的に関わりたいと考える保護者が多いのではないだろうか。一方で教職員は高評価である。ことから、保護者への情報発信不足も考えられる。</p>	<p>コミュニティ・スクールの工夫・改善をし、学校運営により深く参画していただけるような機運を高めていく。また、学校だよりの工夫や役場Facebookを活用して情報発信に力を入れる。</p>	3.2	3.1	86.6%	78.9%	<p>保護者評価が向上した。1回目評価後の改善策(情報発信、コミュニティスクールの活用)が効果を生んだと考える。ミニバレー大会等PTA活動活性化したことも一因と考える。一方で、教職員はやや厳しめの評価となった。</p>	<p>コミュニティ・スクールを活用して、総合的な学習を中心に、地域の教育力をさらに活かしていく。</p>	<p>○学校の特色ある教育活動について、今後も積極的な情報発信をお願いしたい。</p> <p>○コミュニティ・スクール学校部会は開催回数を増やし、活動をより充実させたい。</p> <p>○コロナ5類移行に伴い、地域とかわりのある教育活動が復活してきている。蘭越町は教育に活用できる人材が豊富であり、各種団体も多く活動が盛んである。地学協働をCSと連携して進めながら、地域の教育資源をさらに活用してほしい。</p>
<p>⑤小小・小中・小高・幼保小連携の推進</p>	11	<p>(4)☆子供の琴線に触れる教育相談を実施し、保護者との連携・校内指導体制の強化を進めます。</p> <p>(7)②積極的な子供に関する情報共有、交流と教育相談週間の実施</p> <p>(9)②学習活動の足跡や児童の学習や生活に生きる教育環境づくり</p>	<p>【開かれた学校】教職員は児童に対して温かく共感的な態度で接していた。</p>	3.4	3.4	93.8%	95.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。温かい学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も継続して児童の人格を大切に接し、温かい学校づくりに取り組む。</p>	3.4	3.6	88.1%	100.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。温かい学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も継続して児童の人格を大切に接し、温かい学校づくりに取り組む。</p>	
<p>⑤小小・小中・小高・幼保小連携の推進</p>	12	<p>(1)①調和のとれた創意ある教育課程を編成・実施・評価・改善する。</p> <p>(4)☆校内外の安全点検の実施と問題等の共通認識・改善を随時、迅速に進めます。（※後打ち、C4th掲示板）</p> <p>(9)①各教室等校舎内外の特別支援の視点に立った環境整備、整理整頓</p> <p>(11)①サービスの厳正</p> <p>(11)②健康安全を第一に（交通事故防止、感染症予防、メンタルヘルス）</p> <p>(11)③好ましい人間関係の構築、早期の報告・連絡・相談・確認による教職員間の情報共有</p> <p>(11)④教職員相互の協働意識の充実（組織貢献や相互補完、共助の精神）</p> <p>(11)⑤温かく働きやすい職場の雰囲気づくりと働き方改革の推進</p>	<p>【開かれた学校】学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。</p>	3.5	3.5	95.1%	100.0%	<p>保護者・教職員共に高評価。安心・安全な学校づくりや開かれた学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も継続して、明るく活気のある学校にできるよう取り組んでいく。</p>	3.4	3.5	97.0%	100.0%	<p>引き続き保護者・教職員共に高評価。安心・安全な学校づくりや開かれた学校づくりに取り組んできた成果と考える。</p>	<p>今後も継続して、明るく活気のある学校にできるよう取り組んでいく。</p>	

2023年度 蘭越町立蘭越中学校 学校評価

学校教育目標
 ○力のある ねらいをもって 学び続ける生徒
 ○豊かな心を持つ 明るくて 思いやりのある生徒
 ○強い意志を持つ 深く考えて 実行する生徒
 ○心身ともに健康な ねばり強く たくましい生徒

令和5年度重点目標
 目標に向かって 粘り強く取り組み
 歩み続ける 生徒の育成

令和5年度学校経営の重点
 ○学び続ける姿勢を身に付けるための学習指導
 ○温かい学校・学級づくり
 ○安全・安心な学校環境の構築
 ○信頼される学校づくり ○地域の中の学校

コミュニティスクール中学校部会
 学校：久米達夫（校長）、島崎明日香（教諭）
 委員：小澤 修、小坂恵介、谷口昌弘、河西奈々

蘭越町立蘭越中学校
 校長 久米 達夫 印

No.	アンケート項目	前期			後期			全体 評価	分析・考察	改善策	学校運営協議 会による評価の 妥当性	学校運営協議会専門部会 からの意見要望
		教職員	保護者	生徒	教職員	保護者	生徒					
学び続ける姿勢を身に付けるための学習指導	1 生徒達は、授業の内容を理解している。	2.9	2.8	3.1	2.6	2.8	3.0	2.8	①・④生徒は自分自身では理解していると考えているが、教職員は得点に結びついていないこともあり、あまり評価がよくない。ただ、個に応じた学習については、ある程度よい評価である。 ②・③家庭学習、読書ともに課題がある。情報機器利用時間の増加も背景にある。 ⑤・⑦言語化することに生徒は自信をもてていない。ただ、教職員は様々な教育活動の中で、意識的に発表場面を取り入れるよう取組を強化している。 ⑥今年度の重点目標である。校内研修で粘り強く取り組ませる実践などについて考察してきたが、ポイントは奮わなかった。	○得点という評価は確かに目に見えるためわかりやすい側面があるが、生徒のために努力をしていることが生徒・保護者に伝わっている。自信を持って授業改善を推進する。 ○情報モラル向上を生徒から発信して家庭にも波及させていきたい。また、次年度の各教科年間指導計画に、花一会との連携を記載した。また、朝読書の時間を確実に確保する。 ○総合的な学習の時間を軸とし、キャリア教育を地域学習とからめ、2年計画で刷新する予定である。人前での発表や地域を意識した職業観を身に付けさせる。 ○生徒の実態把握を含め、我々もあきらめることなく向上心をもって授業改善に取り組む。	妥当	○情報機器の利用時間の長さが、よくない影響を与えている。所持させるかどうか、家庭内ルールの徹底については、保護者の責任であることを伝えつつ、使い方や情報モラルについては、学校からさらに啓発していく必要がある。
	2 生徒達は、予習・復習など、家庭学習に取り組んでいる。	2.5	2.5	2.5	2.3	2.5	2.4					
	3 生徒達は、読書の習慣が身に付いている。	2.7	1.9	2.3	2.7	2.1	2.3					
	4 学校は、個に応じた学習を行っている。	3.1	3.0	2.9	3.6	3.0	3.1					
	5 生徒達は、自分の考えをまとめて、相手に伝えることができる。	2.4	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8					
	6 生徒達は、1つのことに対し、あきらめることなく努力している。	2.6	2.8	3.0	2.7	2.9	2.9					
	7 生徒達は、今後の進路や職業について、自分なりの考えを持っている。	2.7	2.5	2.9	2.9	2.6	2.9					
	8 学校は、体力の向上や健康な体づくりに取り組んでいる。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0					
温かい学校・学級づくり	9 生徒達は、気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。	2.7	2.9	3.0	3.1	3.0	2.9	3.1	⑨・⑩総じておおむねよい状況である。挨拶については、教職員も向上していることを実感している。 ⑪・⑫生徒はよさを認めてもらっている意識があり、お互いのコミュニケーションも上手にとれている。	○挨拶については、引き続き生徒会活動や学年経営の核にしていく。心理的安全性にもつながり、ひいては学校に通うことを楽しむポイントの向上につなげる。 ○相手を傷つける言動には敏感に反応し、相手を認める言動を意識的にほめる。あたたかな学校づくりに尽力する。	妥当	○挨拶については、地域からみてよい状況であり、継続させたい。 ○相手の立場に立ったコミュニケーションができるよう、指導を継続させる。 ○学校が不登校対策に腐心していることを、知らせてもいい。
	10 生徒達は、学校に通うことを楽しみにしている。	3.0	3.0	2.9	3.5	3.1	2.9					
	11 生徒達は、自分のよいところを、認めてもらっている。	2.9	3.3	3.2	3.4	3.3	3.2					
	12 生徒達は、友達や家族と上手にコミュニケーションを取っている。	2.8	3.1	3.1	2.9	3.1	3.3					
安全・安心な学校環境の構築	13 生徒達は、善悪の判断や思いやりの気持ちをもっている。	2.6	3.3	3.1	2.9	3.2	3.1	2.9	⑬・⑭思いやりやいじめ防止の観点では、全て良好なポイントである。ただ、善悪の判断については、教職員は疑問を感じている。 ⑮・⑯最も課題がある。家庭内ルール自体存在しない家庭もあり、利用時間の長さ、就寝時刻の遅さにつながっている。	○生徒指導部や生徒会を中心に、いじめ防止、思いやりやあたたかい学校づくりのための活動を継続する。また、望ましい善悪の判断について啓発を行っていく。 ○警察と連携し、継続して情報モラル教育を推進する。また、町教研ICT部会と連携し、小学校から系統立てた指導を計画する。	妥当	○タブレットを使って生活環境や心理状況を把握していることは評価できる。
	14 学校は、いじめの防止や早期発見・早期解決に取り組んでいる。	3.4	3.1	3.0	3.6	3.1	3.0					
	15 生徒達は、規則正しい生活を送っている。	2.4	2.7	2.9	2.8	3.0	2.9					
	16 生徒達は、スマホ等の利用について、家庭のルールを守っている。	2.2	2.5	3.0	2.5	2.7	3.0					
地域の中の学校	17 学校は、小学校や高校と連携した取組を行っている。	3.2	3.0		3.3	3.1		3.3	○中一ギャップ、高一クライシスを緩和し、安心して進学できるよう継続する。 ○地域に根ざした学校として、さらに総合的な学習の時間を改良する計画である。町の地域コーディネーター(仮称)も活用していく。	妥当	○特になし	
	18 学校は (中略) 学校の様子を保護者や地域に伝えている。	3.4	3.4		3.6	3.3						
	19 学校は (中略) 蘭越町について学ぶ機会を設けている。	3.1	3.0		3.4	3.2						

